

2014年6月期末

# 決算 説明会

# 目次

1. 決算の概要	..... 3
2. セグメント別状況	.....17
3. 2015年6月期見通し	.....25
4. 中長期的視野に立った経営方針	.....31

## 【本資料についてのご注意】

- ・ 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- ・ 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に株式会社構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

# 1

## 決算の概要



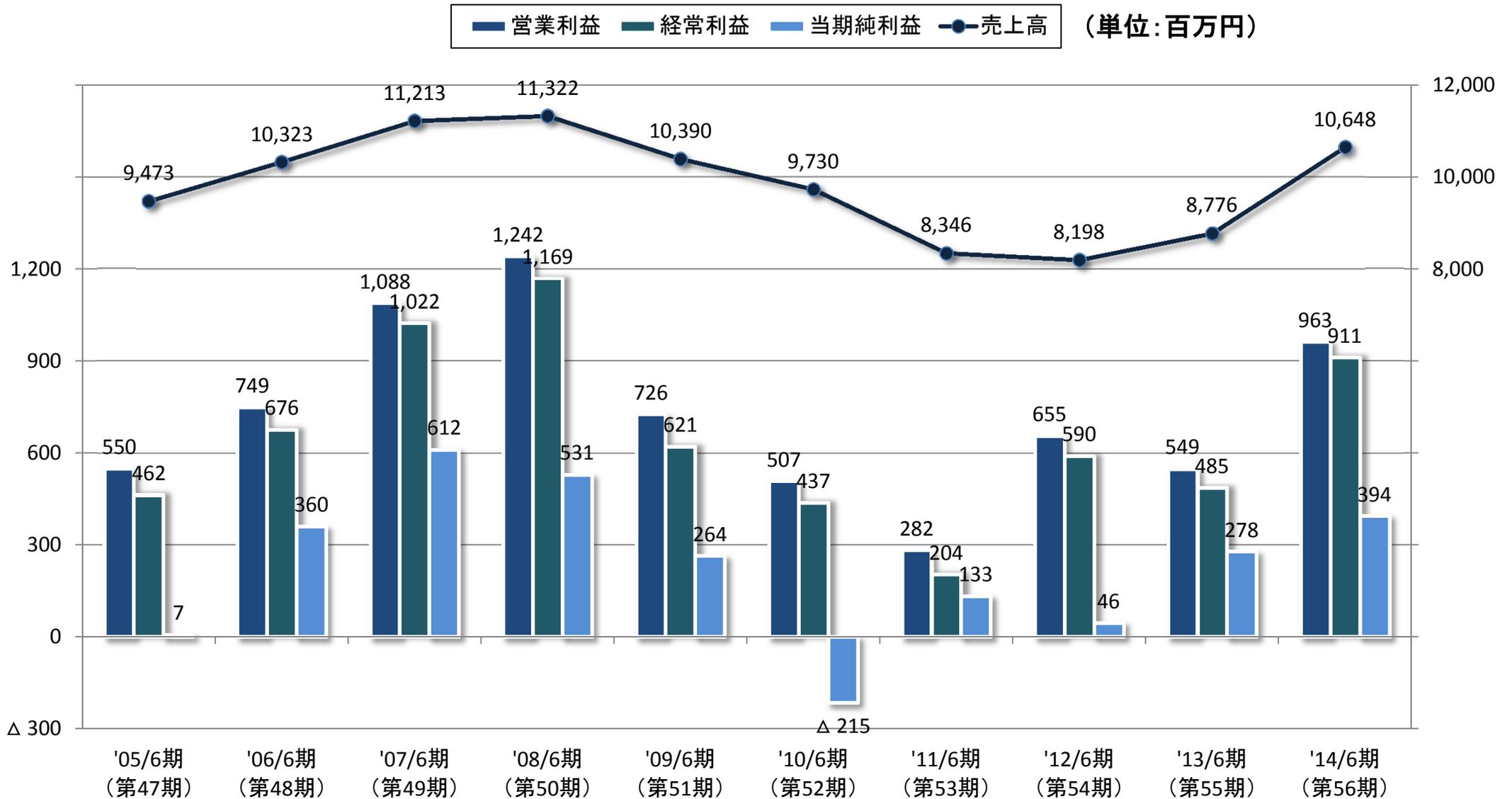
# 決算ハイライト

(単位:百万円)

	'13/06期 (第55期)	'14/06期(第56期)		対計画増減額 (増減率)	対前期増減額 (増減率)
		計画※	実績		
売上高	8,776	10,500	10,648	148 (1.4%)	1,871 (21.3%)
営業利益	549	900	963	63 (7.0%)	414 (75.4%)
経常利益	485	840	911	71 (8.6%)	426 (87.8%)
当純利益	278	330	394	64 (19.6%)	116 (41.7%)
配当金	@20円/株	@20~30円/株	@普通30 +記念5円/株		

※計画につきましては2014年5月14日付にて発表した業績予想の値を表示しております。

# 過去10年間の業績推移



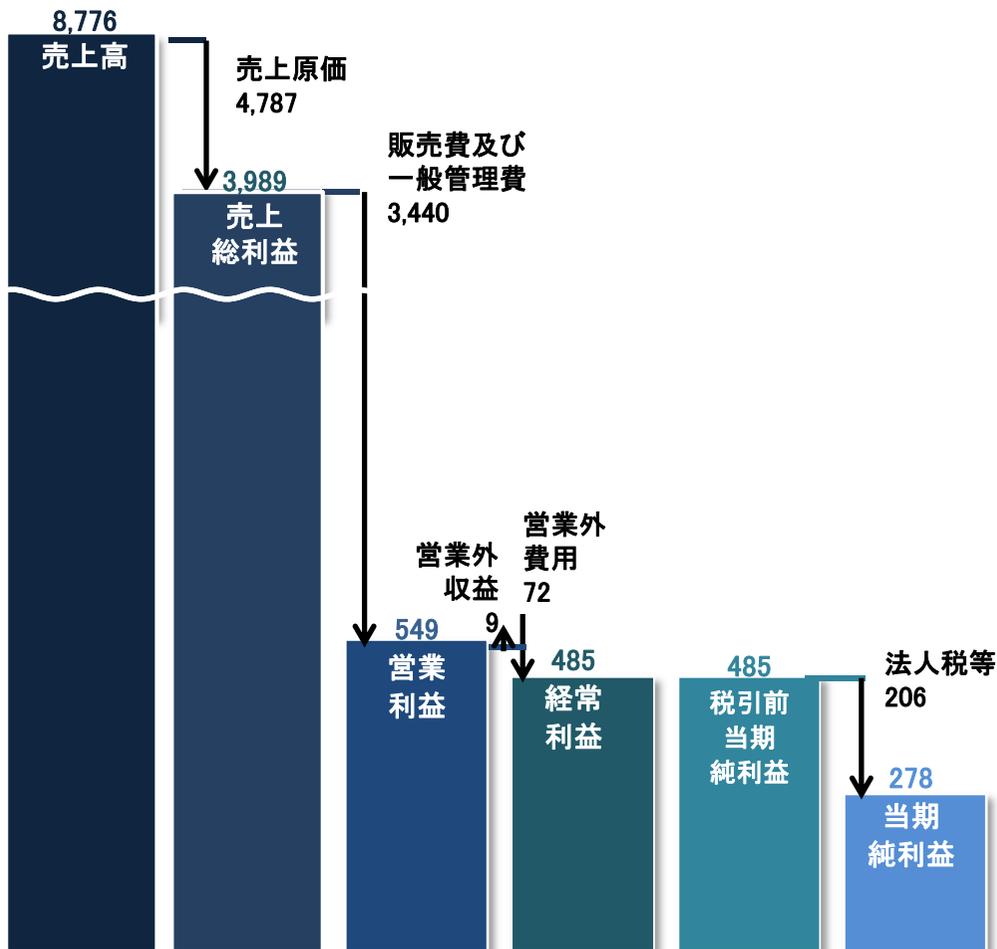
# 損益計算書ハイライト

(単位:百万円)

	'13/6期 (第55期)	'14/6期 (第56期)	対前期増減額	対前期増減率
売上高	8,776	10,648	1,871	21.3%
売上原価	4,787	5,979	1,191	24.9%
売上総利益 (売上総利益率)	3,989 (45.5%)	4,668 (43.8%)	679	17.0%
販売費及び 一般管理費	3,440	3,705	265	7.7%
営業利益 (営業利益率)	549 (6.3%)	963 (9.0%)	414	75.4%
営業外損益	△63	△51	12	-
経常利益 (経常利益率)	485 (5.5%)	911 (8.6%)	426	87.8%
特別損益	△0	△240	△240	-
税引前当期純利益	485	671	185	38.3%
法人税等	206	276	69	33.7%
当期純利益 (当期純利益率)	278 (3.2%)	394 (3.7%)	116	41.7%

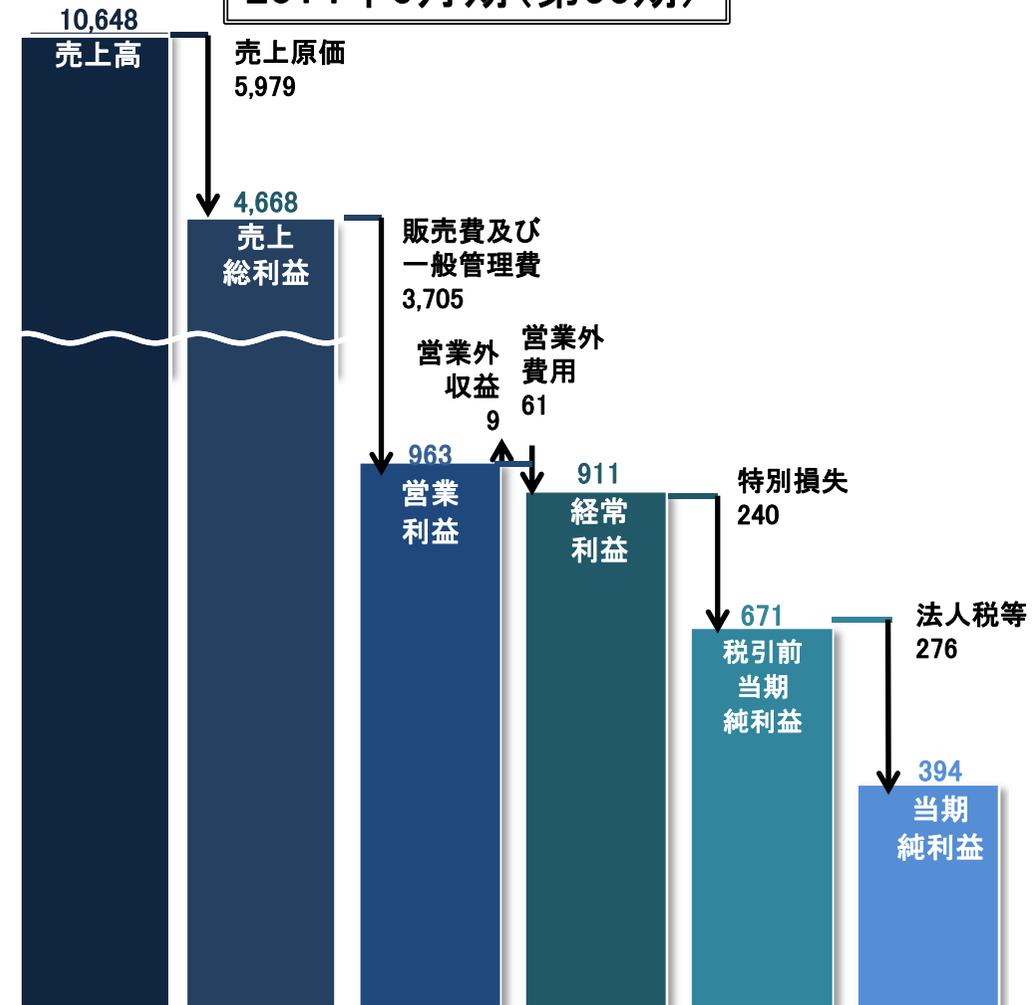
# 損益の状況

2013年6月期(第55期)



2014年6月期(第56期)

(単位:百万円)



■ 売上高、各利益ともに前期に比べ増加

## 特別損失の計上

### ■ 資産効率の向上を目的として、固定資産を売却し、特別損失として計上(2014年5月29日)

□ 資産の内容	福利厚生施設(若手所員寮)
□ 資産の取得時期	1990年10月
□ 譲渡価額	2億23百万円
□ 特別損失	2億9百万円

# 貸借対照表ハイライト

(単位:百万円)

	'13/6期 (第55期)	'14/6期 (第56期)	対前期 増減額
<b>流動資産合計</b>	2,771	2,567	△204
現金・預金	380	264	△116
売掛金	1,227	1,066	△161
仕掛品	431	407	△24
<b>固定資産合計</b>	7,035	6,575	△459
有形固定資産	5,583	5,119	△463
<b>資産合計</b>	9,807	9,143	△664

	'13/6期 (第55期)	'14/6期 (第56期)	対前期 増減額
<b>負債合計</b>	6,127	6,386	259
<b>流動負債</b>	4,127	4,566	438
短期借入金※	1,900	2,132	232
<b>固定負債</b>	1,999	1,819	△179
長期借入金	609	292	△316
<b>純資産合計</b>	3,680	2,756	△923
<b>負債・純資産合計</b>	9,807	9,143	△664

※ 「1年内返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

# 財政の状態

## 2013年6月期(第55期)B/S

総資産: 9,807  
負債+純資産: 9,807

<b>流動資産</b> 2,771 現・預金 380 売掛金 1,227	<b>流動負債</b> 4,127 短期借入金 1,290 一年以内 長期借入金 610 未払費用 430	有利子 負債 2,548
<b>固定資産</b> 7,035 建物 1,920 土地 3,558	<b>固定負債</b> 1,999 長期借入金 609	
		<b>純資産</b> 3,680 自己株式 -542

## 2014年6月期(第56期)B/S

総資産: 9,143  
負債+純資産: 9,143

<b>流動資産</b> 2,567 現・預金 264 売掛金 1,066	<b>流動負債</b> 4,566 短期借入金 1,950 一年以内 長期借入金 182 未払費用 666	有利子 負債 2,494
<b>固定資産</b> 6,575 建物 1,786 土地 3,204	<b>固定負債</b> 1,819 長期借入金 292	
		<b>純資産</b> 2,756 自己株式 -1,742

固定資産の減少により  
総資産が圧縮

## 資産の変化(△664百万円)

### ● 流動資産の減少(△204百万円)

現金及び預金の減少 (△116百万円)  
売掛金の減少 (△161百万円)

### ● 固定資産の減少(△459百万円)

建物の減少 (△134百万円)  
土地の減少 (△354百万円)

## 負債の変化(259百万円)

### ● 流動負債の増加(438百万円)

短期借入金の増加 (660百万円)  
一年以内長期借入金の減少 (△427百万円)  
未払費用の増加 (235百万円)

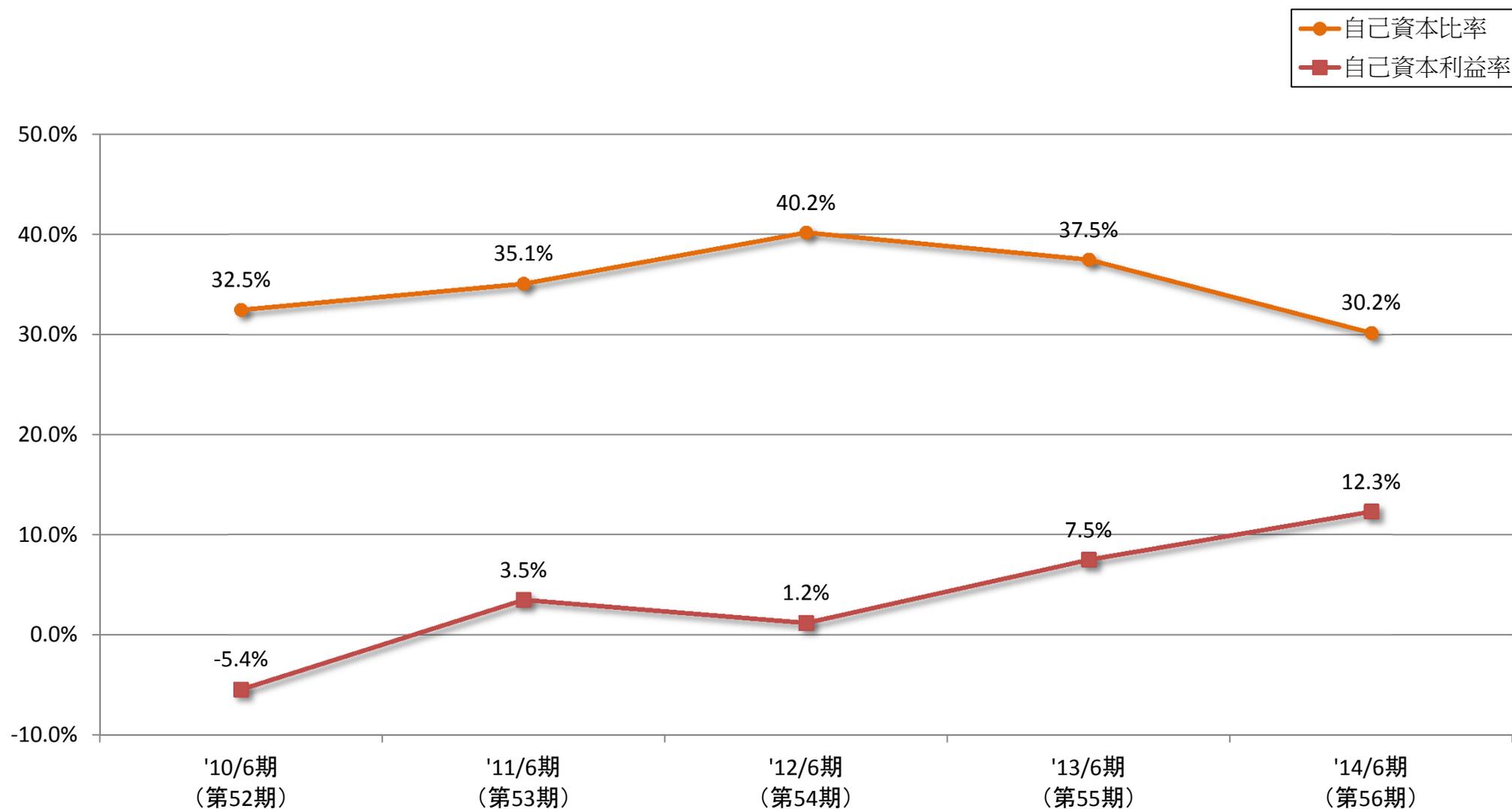
### ● 固定負債の減少(△179百万円)

長期借入金の減少 (△316百万円)  
退職給付引当金の増加 (108百万円)

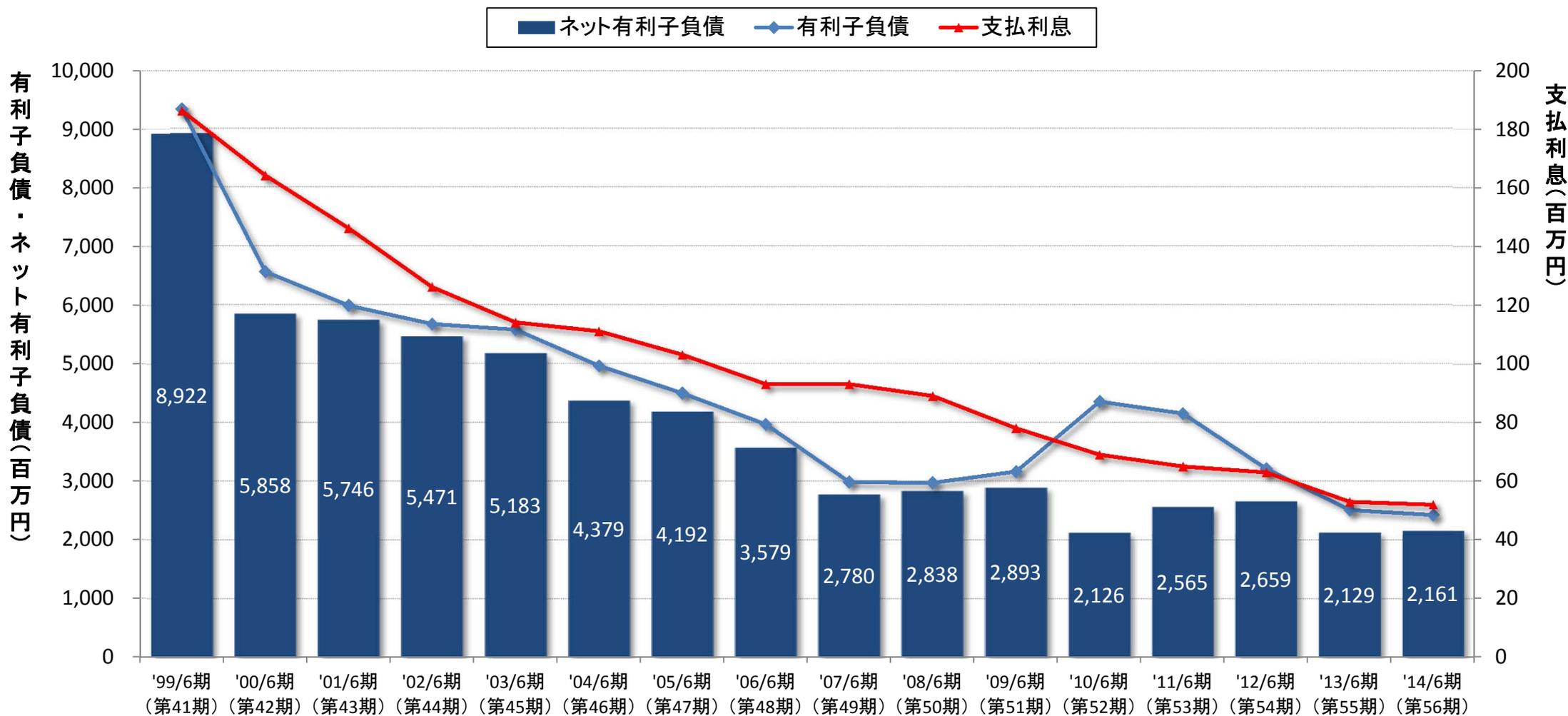
## 純資産の変化(△923百万円)

自己株式の増加 (△1,200百万円)

# 自己資本比率と自己資本利益率（ROE）の推移



# ネット有利子負債と支払利息の推移



※リース債務は含めておりません。

# キャッシュ・フロー計算書ハイライト

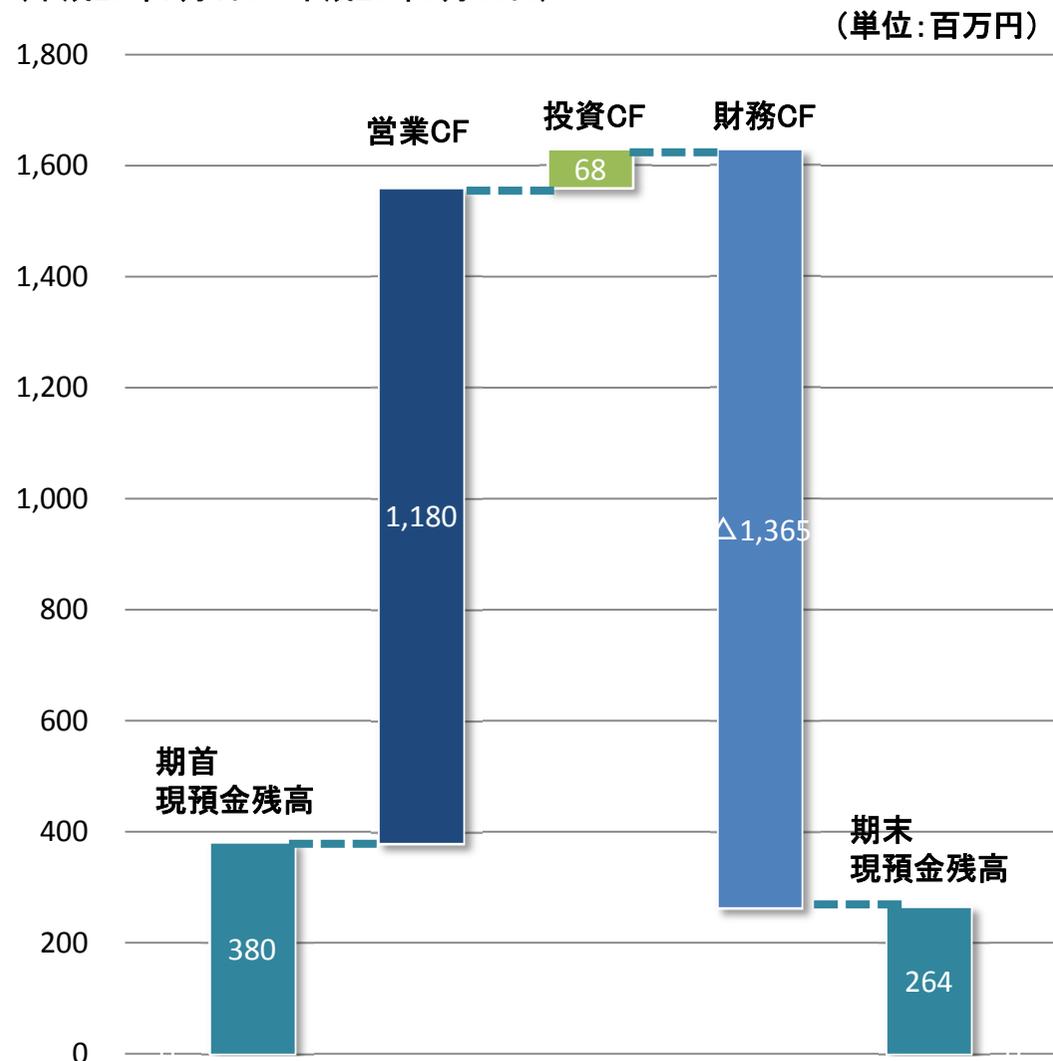
(単位:百万円)

	'13/6期 (第55期)	'14/6期 (第56期)
期首現預金残高	551	380
営業活動CF	1,356	1,180
投資活動CF	△451	68
フリー・キャッシュ・フロー	905	1,249
財務活動CF	△1,076	△1,365
期末現預金残高	380	264

# キャッシュ・フローの状況

## 2014年6月期(第56期)キャッシュ・フロー

(平成25年7月1日～平成26年6月30日)



### 営業CF(1,180百万円)

● 税引前当期純利益	671百万円
● 減価償却費	247百万円
● 固定資産売却損	209百万円
● 未払費用の増加	235百万円
● 法人税等の支払額	△507百万円

### 投資CF(68百万円)

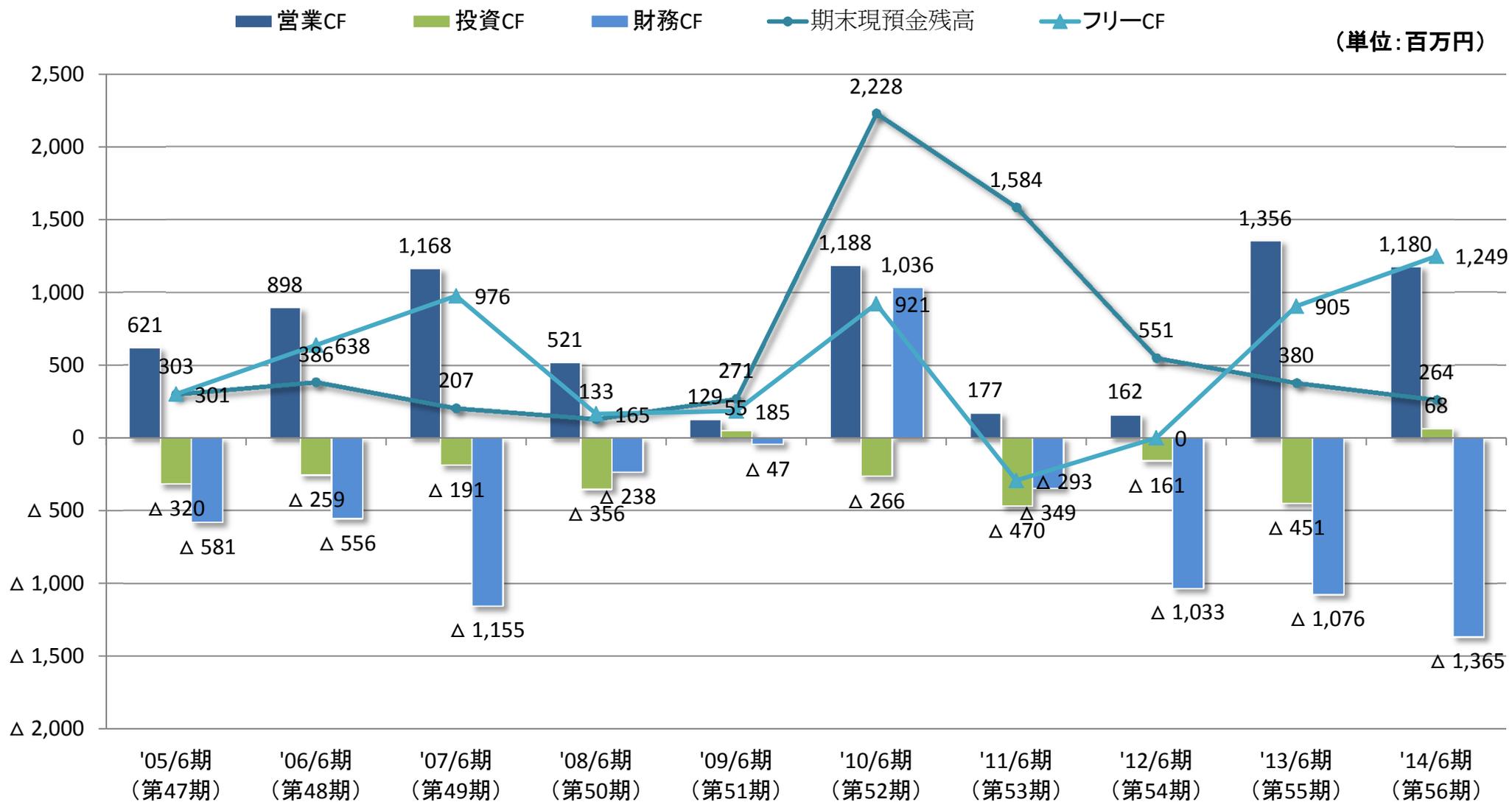
● 有形固定資産の売却	224百万円
● 無形固定資産の取得	△114百万円

### 財務CF(△1,365百万円)

● 自己株式の取得	△1,284百万円
● 長期借入金の純減	△744百万円

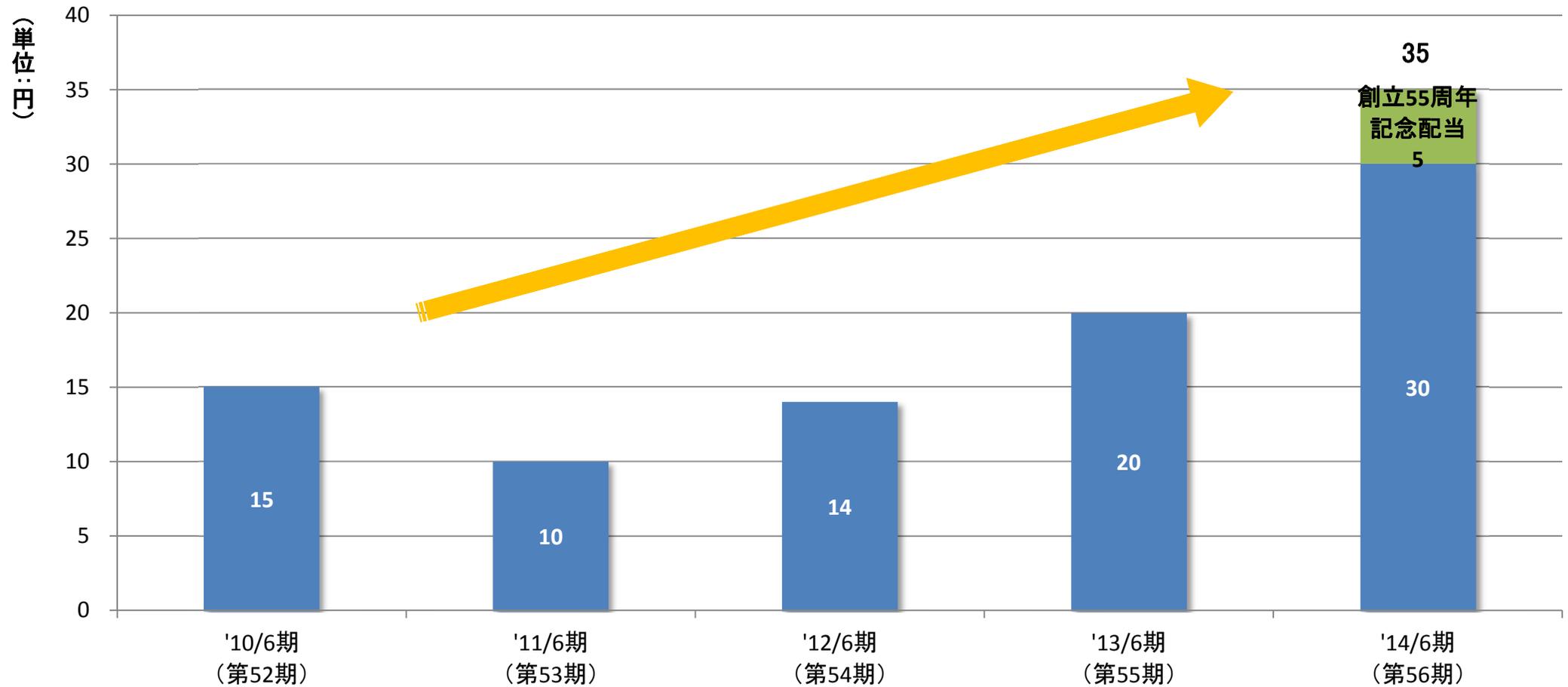
フリー・キャッシュ・フロー 1,249百万円(前年同期 905百万円)  
インタレスト・カバレッジ・レシオ 23.3倍(前年同期 26.4倍)

# 過去10年のキャッシュ・フローの状況



# 一株当たり配当の推移

## 一株当たり配当金



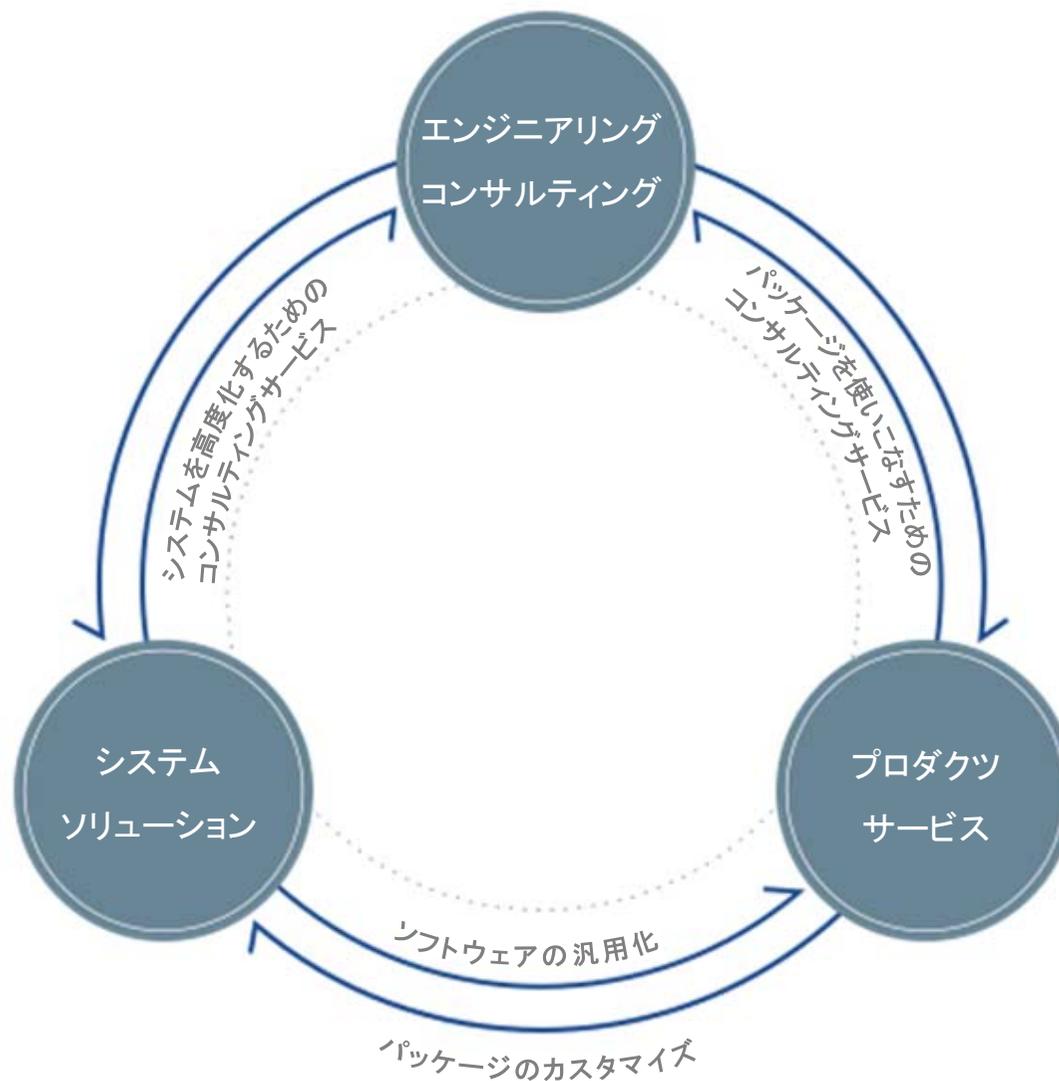
※当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識しており、経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えての内部留保を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針としております。

# 2

## セグメント別状況



# セグメント間のシナジー



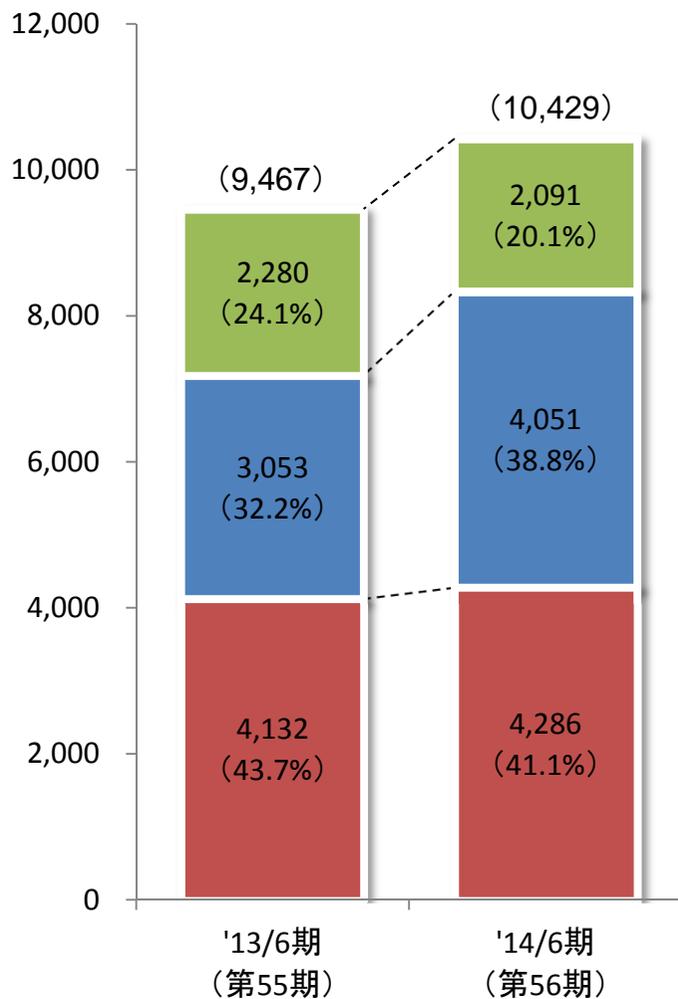
# セグメント別の状況

(単位:百万円)

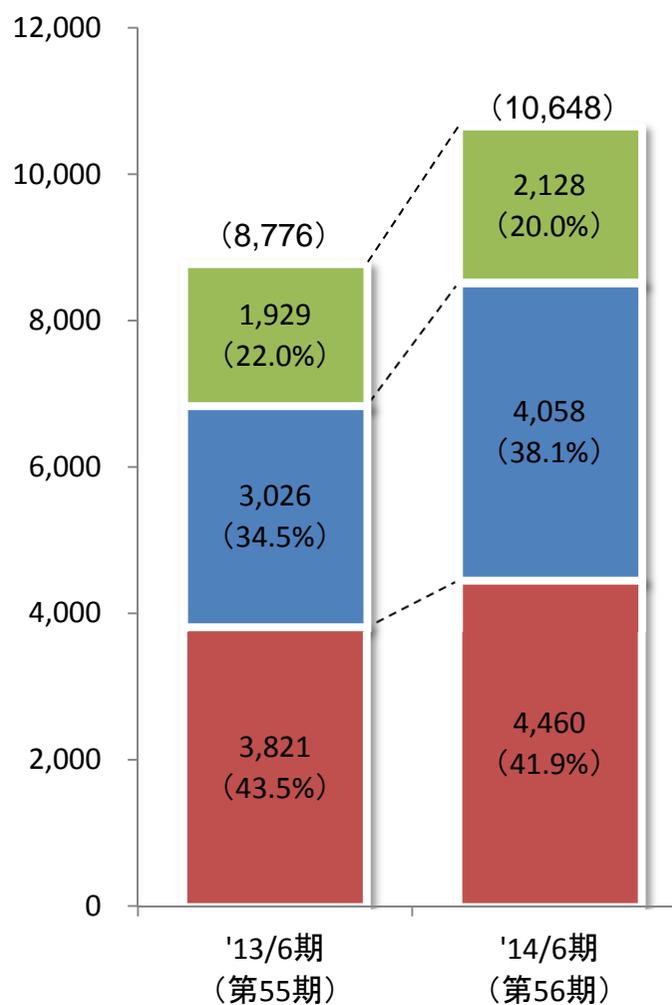
事業	事業内容	売上高構成		対前期 増減率
		'13/6期	'14/6期	
エンジニアリング コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 防災・耐震・環境評価解析コンサルティング</li> <li>□ 建築物の構造設計</li> <li>□ ソフトウェア開発の要求定義・基本検討</li> <li>□ 製造・物流系シミュレーション</li> <li>□ マーケティングコンサルティング、リスク分析</li> <li>□ マルチエージェントシミュレーション</li> </ul>	3,821 (43.5%)	4,460 (41.9%)	16.7%
システム ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 構造設計支援システム</li> <li>□ 移動通信・モバイル・ネットワーク通信システム</li> <li>□ バス運行関連ソリューションシステム</li> <li>□ 製造業向け営業・設計支援システム</li> <li>□ 最適化・物流システム</li> </ul>	3,026 (34.5%)	4,058 (38.1%)	34.1%
プロダクツ サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 建設系構造解析・耐震検討ソフト</li> <li>□ ネットワークシミュレーションソフト</li> <li>□ 電波伝搬・電磁波解析ソフト</li> <li>□ 製造系設計者向けCAEソフト</li> <li>□ マーケティング・意思決定支援ソフト</li> <li>□ 統計解析ソフト、画像認識ソフト</li> <li>□ コンサルティング</li> <li>□ 教育・トレーニング</li> </ul>	1,929 (22.0%)	2,128 (20.0%)	10.3%
合 計		8,776 (100.0%)	10,648 (100.0%)	21.3%

# セグメント別受注高・売上高・受注残高

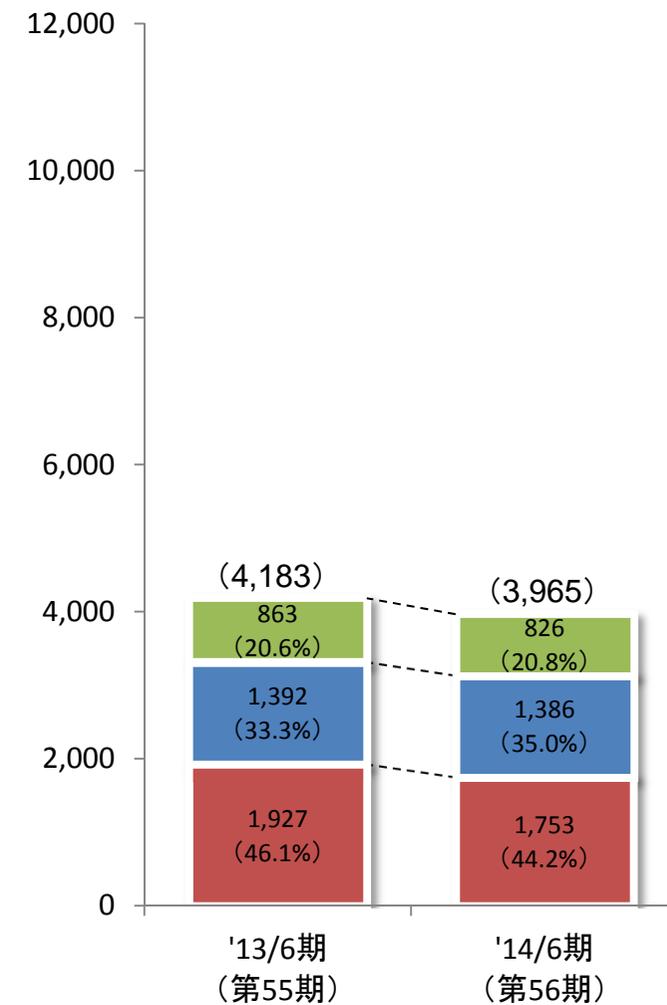
- エンジニアリングコンサルティング
- システムソリューション
- プロダクツサービス



受注高(単位:百万円)



売上高(単位:百万円)

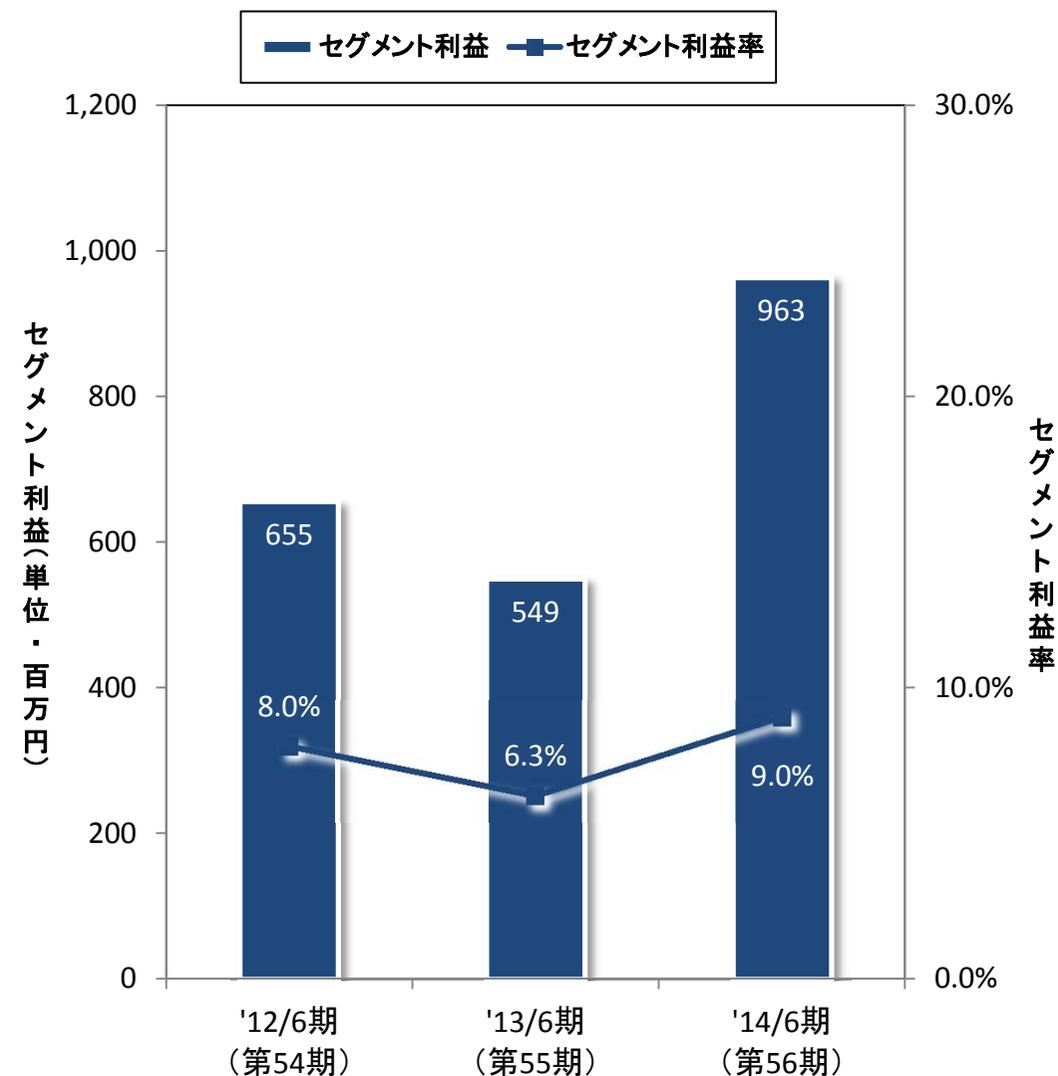


受注残高(単位:百万円)

# 3セグメント合計

(単位:百万円)

	'12/6期 (第54期)	'13/6期 (第55期)	'14/6期 (第56期)	対前年同期 増減率
受注高	8,664	9,467	10,429	10.2%
売上高	8,198	8,776	10,648	21.3%
セグメント 利益 (利益率)	655 (8.0%)	549 (6.3%)	963 (9.0%)	75.4%
受注残高	3,493	4,183	3,965	△5.2%

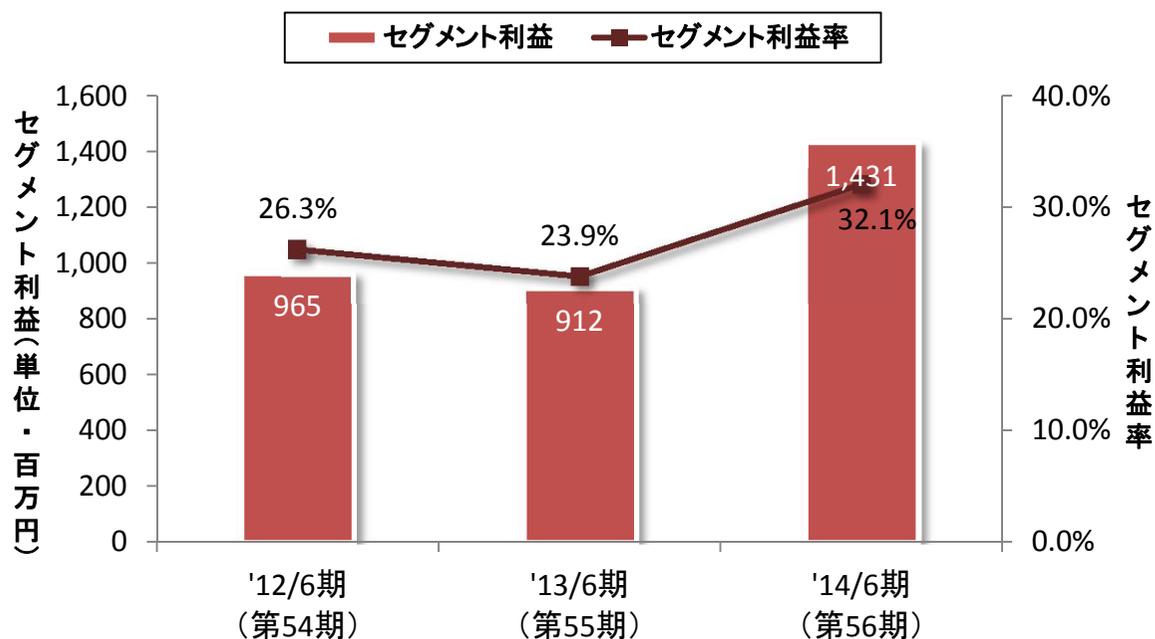


# ①エンジニアリングコンサルティング

(単位:百万円)

	'12/6期 (第54期)	'13/6期 (第55期)	'14/6期 (第56期)	前期比 増減率
受注高	3,794	4,132	4,286	3.7%
売上高	3,677	3,821	4,460	16.7%
セグメント利益 (利益率)	965 (26.3%)	912 (23.9%)	1,431 (32.1%)	56.8%
受注残高	1,616	1,927	1,753	△9.1%

- ◆ 防災・耐震・環境評価解析コンサルティング
- ◆ 建築物の構造設計
- ◆ ソフトウェア開発の要求定義・基本検討
- ◆ 製造・物流系シミュレーション
- ◆ マーケティングコンサルティング、リスク分析
- ◆ マルチエージェントシミュレーション



## 業績分析

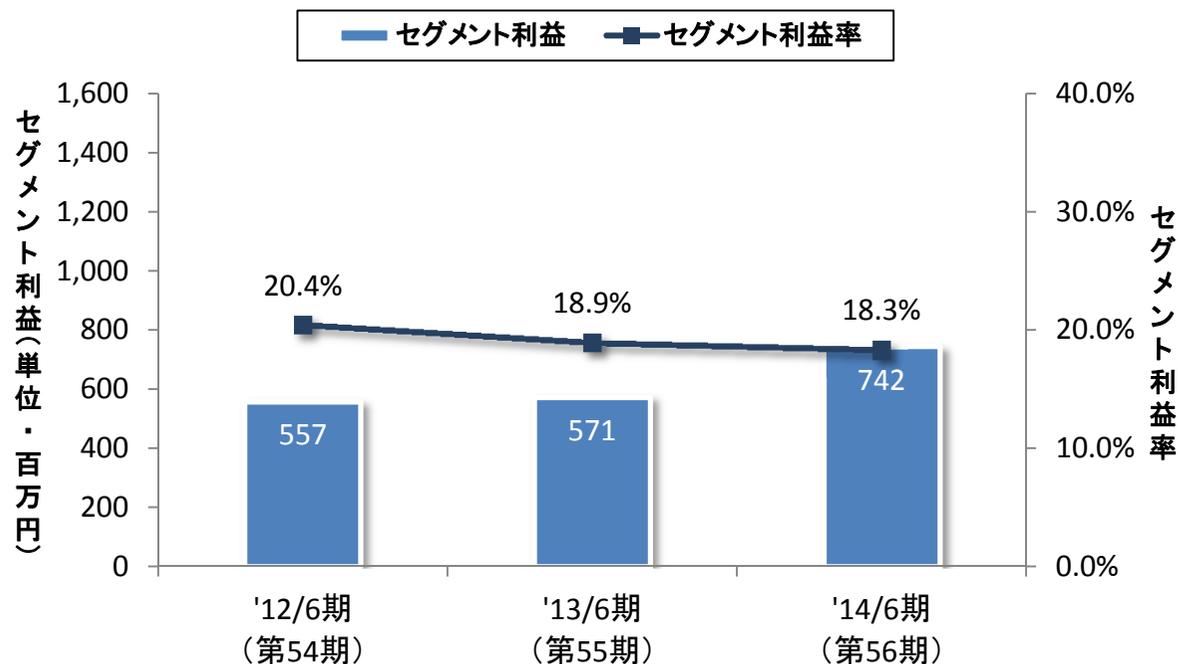
- 防災・耐震関連の解析コンサルティング業務、安全・安心ソリューション業務、合意形成支援コンサルティング業務が好調

## ②システムソリューション

(単位:百万円)

	'12/6期 (第54期)	'13/6期 (第55期)	'14/6期 (第56期)	前期比 増減率
受注高	2,866	3,053	4,051	32.7%
売上高	2,737	3,026	4,058	34.1%
セグメント利益 (利益率)	557 (20.4%)	571 (18.9%)	742 (18.3%)	29.9%
受注残高	1,365	1,392	1,386	△0.5%

- ◆ 構造設計支援システム
- ◆ 移動通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ◆ バス運行関連ソリューションシステム
- ◆ マルチメディアソリューションシステム
- ◆ 製造業向け営業・設計支援システム
- ◆ 最適化・物流システム



### 業績分析

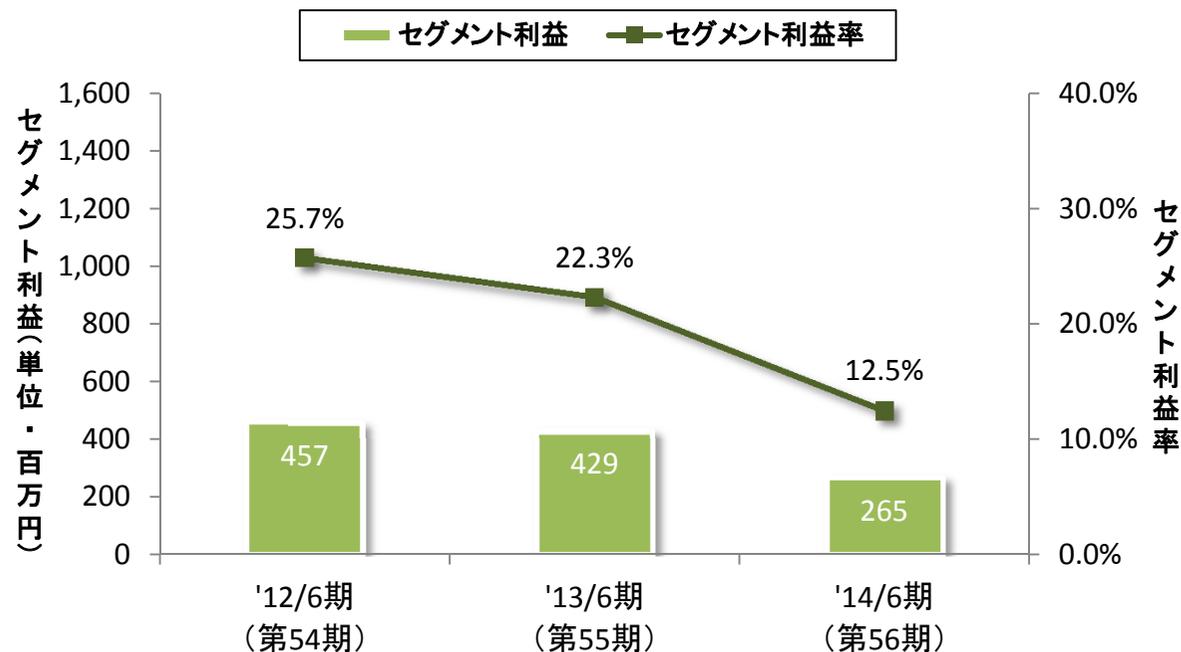
- 大手住宅メーカー向けのシステム開発業務が好調に推移
- 住宅設備メーカー向け及び大手通信キャリア向けのシステム開発業務が堅調

### ③ プロダクツサービス

(単位:百万円)

	'12/6期 (第54期)	'13/6期 (第55期)	'14/6期 (第56期)	前期比 増減率
受注高	2,004	2,280	2,091	△8.3%
売上高	1,784	1,929	2,128	10.3%
セグメント利益 (利益率)	457 (25.7%)	429 (22.3%)	265 (12.5%)	△38.1%
受注残高	512	863	826	△4.3%

- ◆ 建設系構造解析・耐震検討ソフト
- ◆ ネットワークシミュレーションソフト
- ◆ 電波伝搬・電磁波解析ソフト
- ◆ 製造系設計者向けCAEソフト
- ◆ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ◆ 統計解析ソフト、画像認識ソフト
- ◆ コンサルティング
- ◆ 教育・トレーニング



#### 業績分析

- 設計者向けCAEソフト、統合型粒子法流体解析ソフト、リスク分析・意思決定支援ソフト及び建築構造解析プログラムの販売が堅調に推移

# 3

2015年6月期見通し



# 2015年6月期見通し

## 経済環境

回復の傾向が続いているものの、増税、海外情勢の悪化などリスクを軽視できない

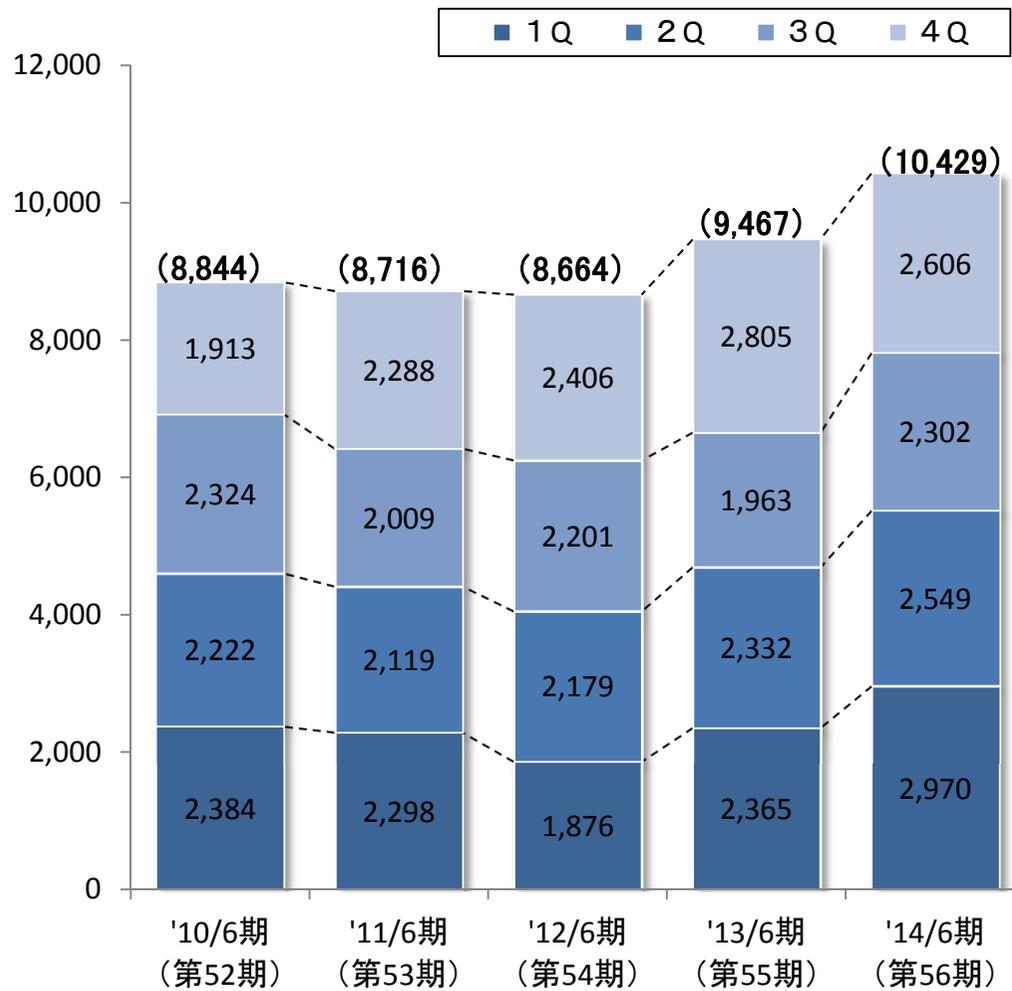
## 当社の対面業界

増税により生産や設備投資に慎重な様子が見え始めるものの、競争力強化および安全・安心のための投資には根強い需要

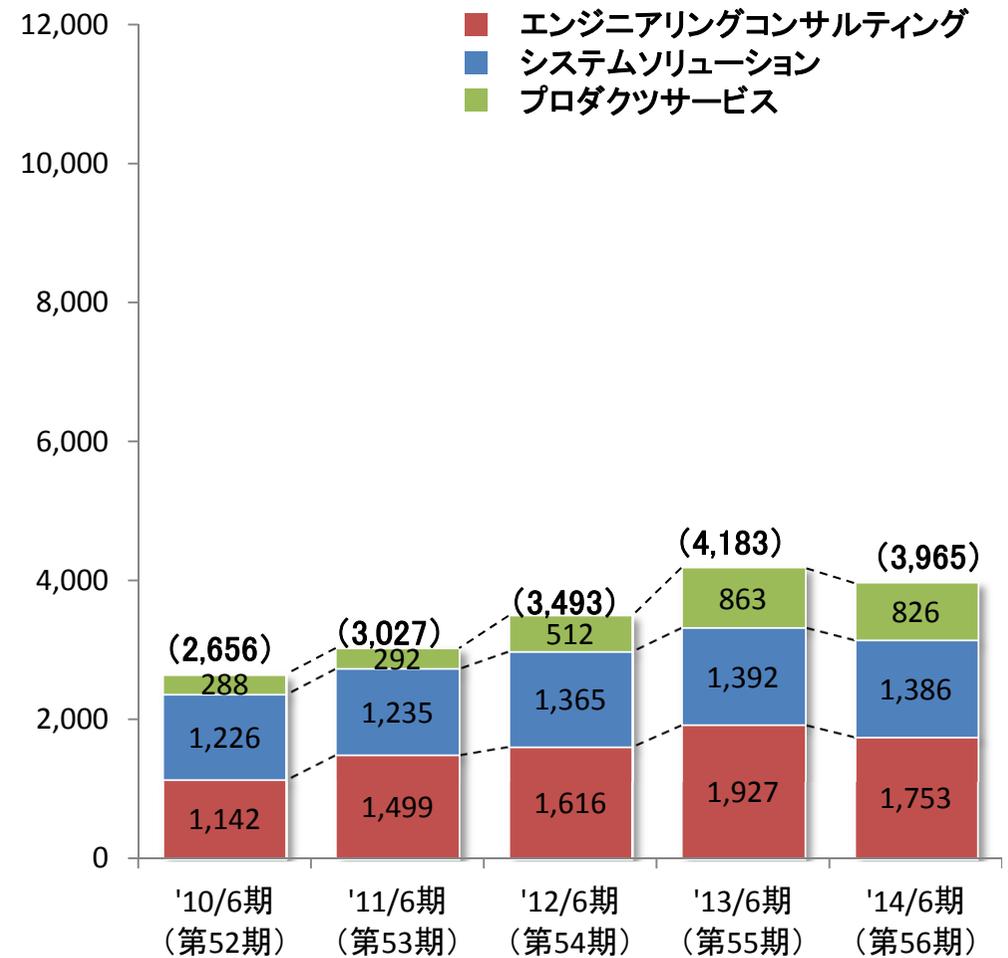
- ① 品質管理のより一層の向上による強固な収益構造の構築
- ② 独自技術の提供により高収益を確保できるエンジニアリングコンサルティングビジネスの拡大
- ③ 大学・研究機関との共同研究及び独自技術をもつ国内外企業とのアライアンス拡大
- ④ 重要な顧客の情報を集約することによる、営業のスピードと効率の向上
- ⑤ 海外での事業拡大および人材の採用

高い顧客満足度と付加価値の向上を追求

# 受注高実績と期末繰越受注残高



受注高(単位:百万円)



受注残高(単位:百万円)

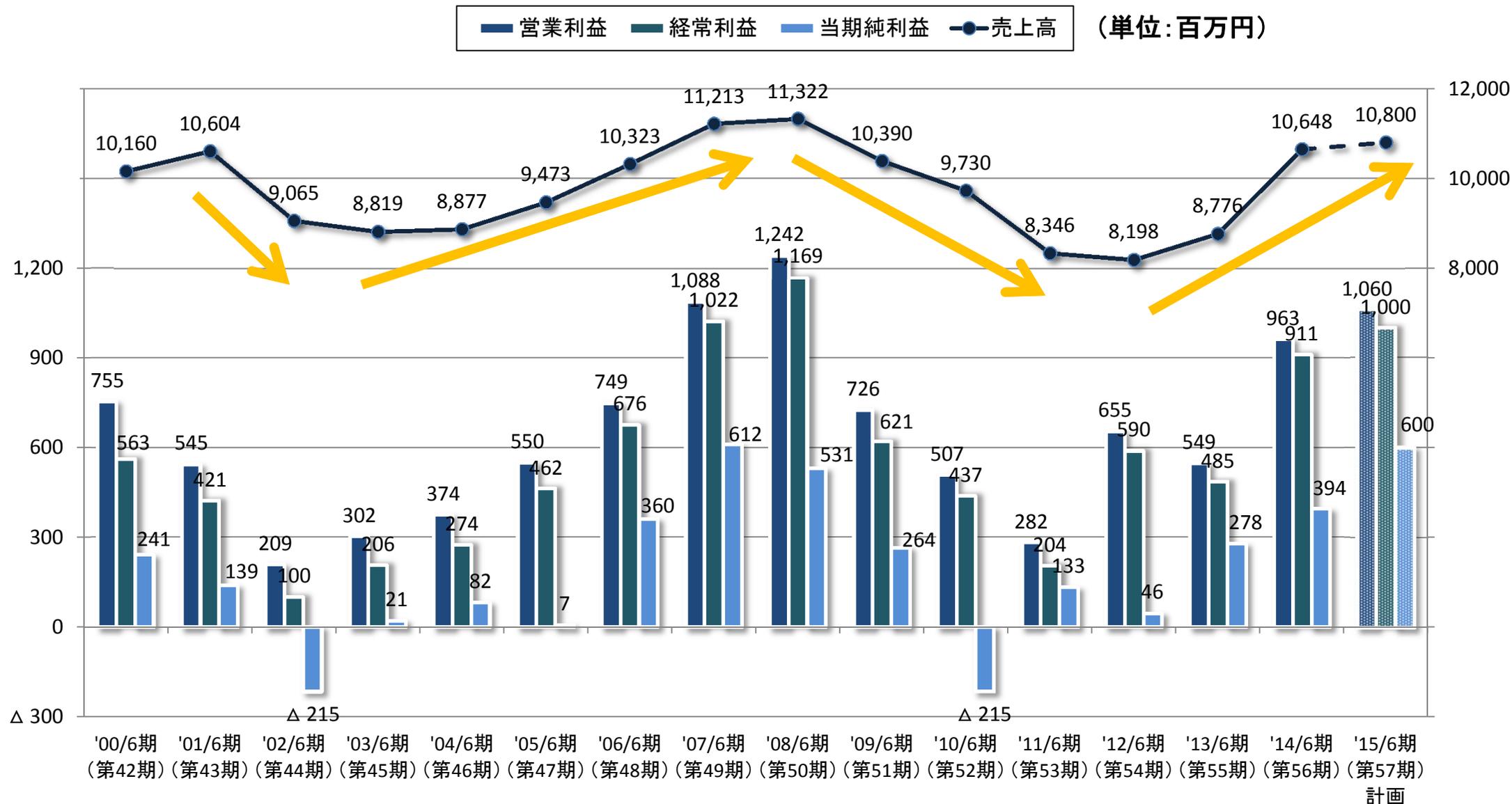
# 2015年6月期計画

(単位:百万円)

	' 14/6期	' 15/6期計画	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	10,648	10,800	151	1.4%
営業利益	963	1,060	96	10.0%
経常利益	911	1,000	88	9.7%
当期純利益	394	600	205	52.0%

配当金	@普通30 +記念5円/株	@40円/株
-----	------------------	--------

# 過去の業績推移と業績予想



## 利益配分に関する基本方針

- 当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識。
- 経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えての内部留保を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針とする。
- 毎期の配当については、上記基本方針のもと、配当可能額の水準を勘案し決定する。

# 4

中長期的視野に立った経営方針

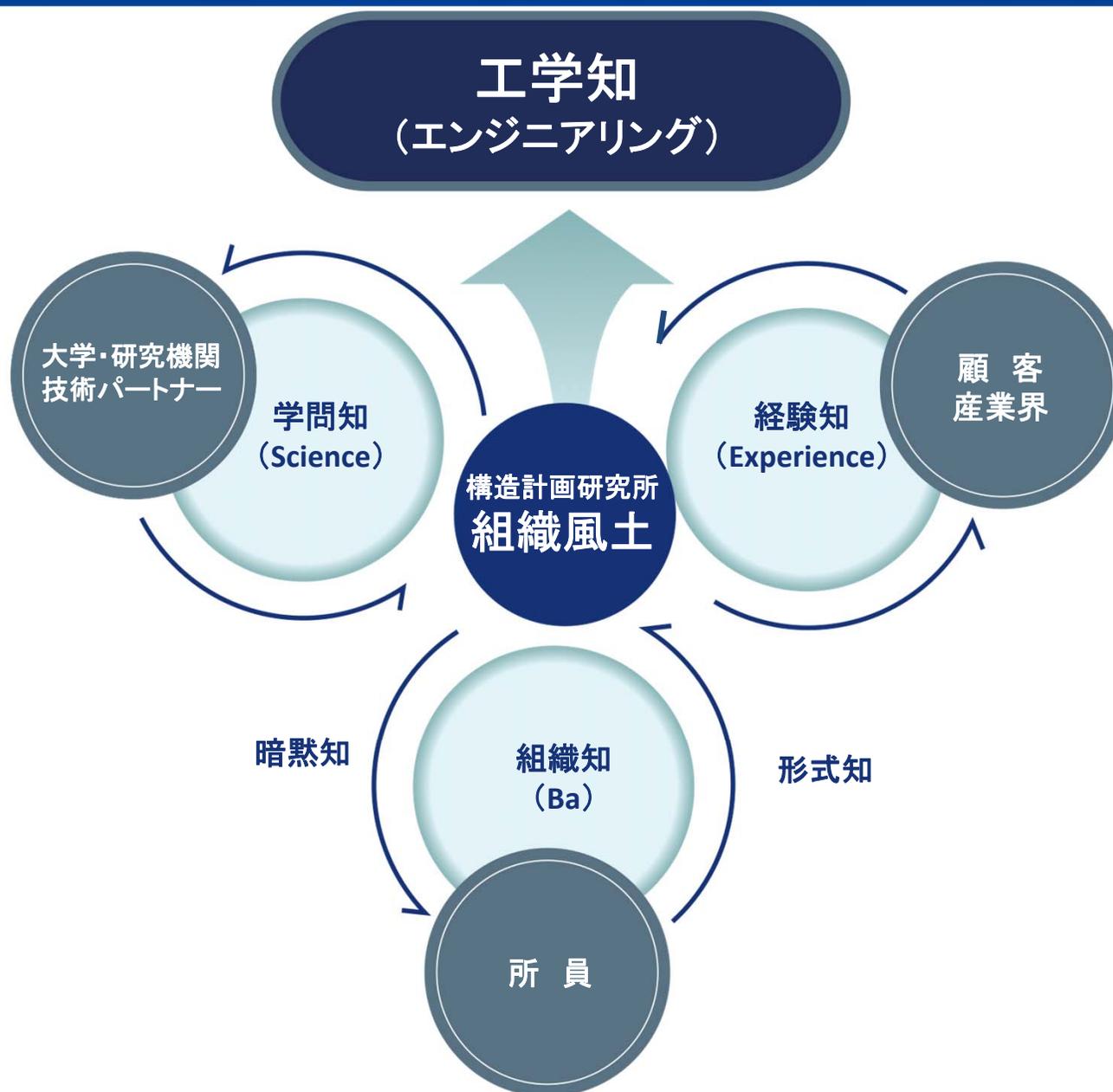




# Professional Design & Engineering Firm

学問知と経験知による知の循環から  
生み出される、工学的手法に立脚した  
ユニークな解決策（ソリューション）を  
提供することによって高付加価値を  
実現する組織

# 当社の特長（ビジョン）



## 3つの行動指針

(Professional Design & Engineering Firmを実現するために)

限られたリソースの中で優先順位を付けたマネジメント

- 1** 閉じこもらない「*Collaboration*」  
社内、社外のパートナーとの提携！
- 2** PDCAを糧にする「*Feedback*」  
失敗経験も組織の力に活かす！
- 3** 情報技術の進化に負けない「*Speed*」  
組織メンバーがスピードのある行動を！

# 付加価値を向上させるための5つの「I」（姿勢）

## I ntelligent

知を対価とするビジネスと社会貢献

## I ndependent

何にもとらわれない自由な発想のできる場の設定

## I nterdisciplinary

多様な学問分野の組み合わせ、融合

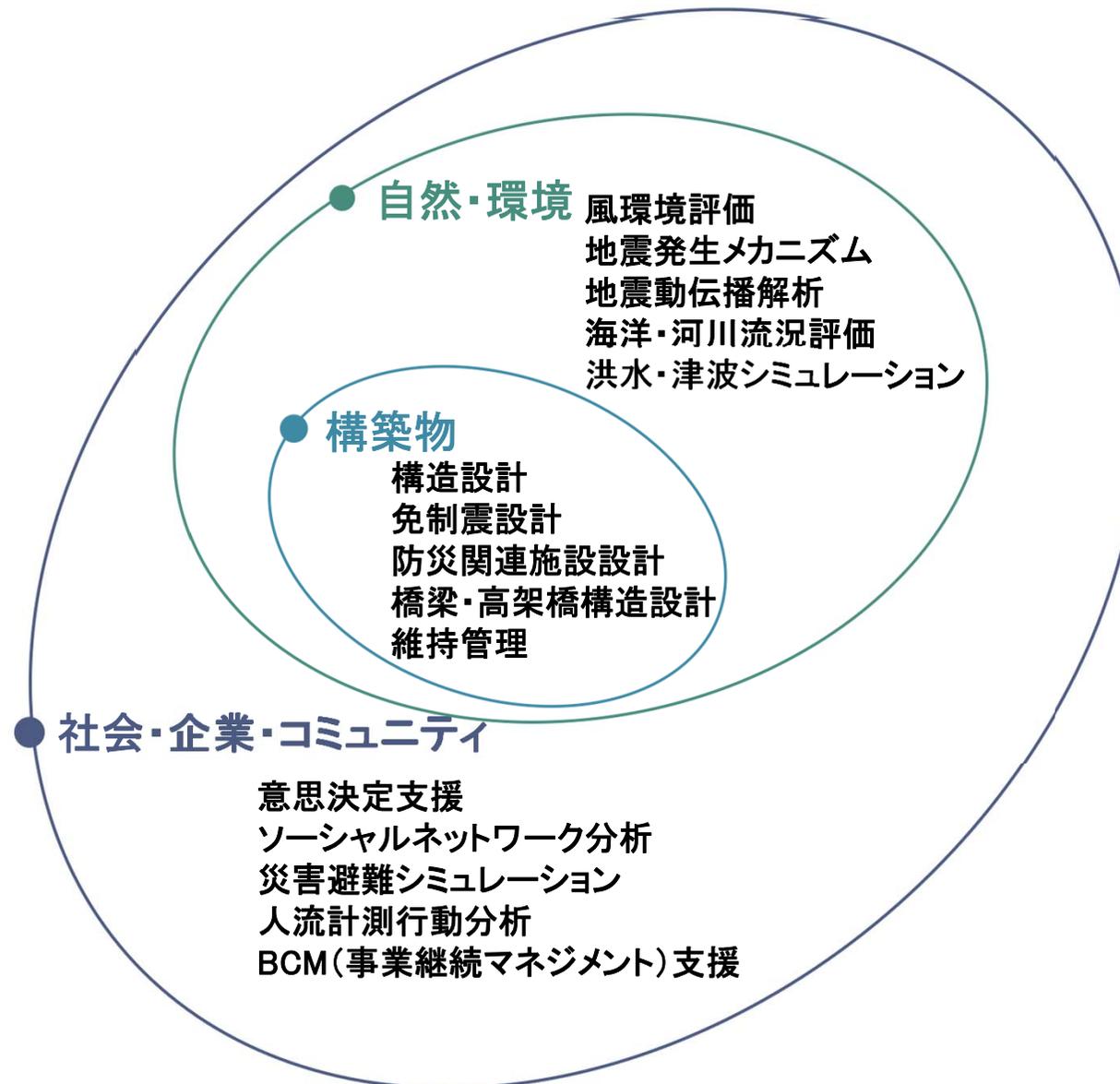
## I nnovative

常に新しい事に対して挑戦する気概 風土 DNA

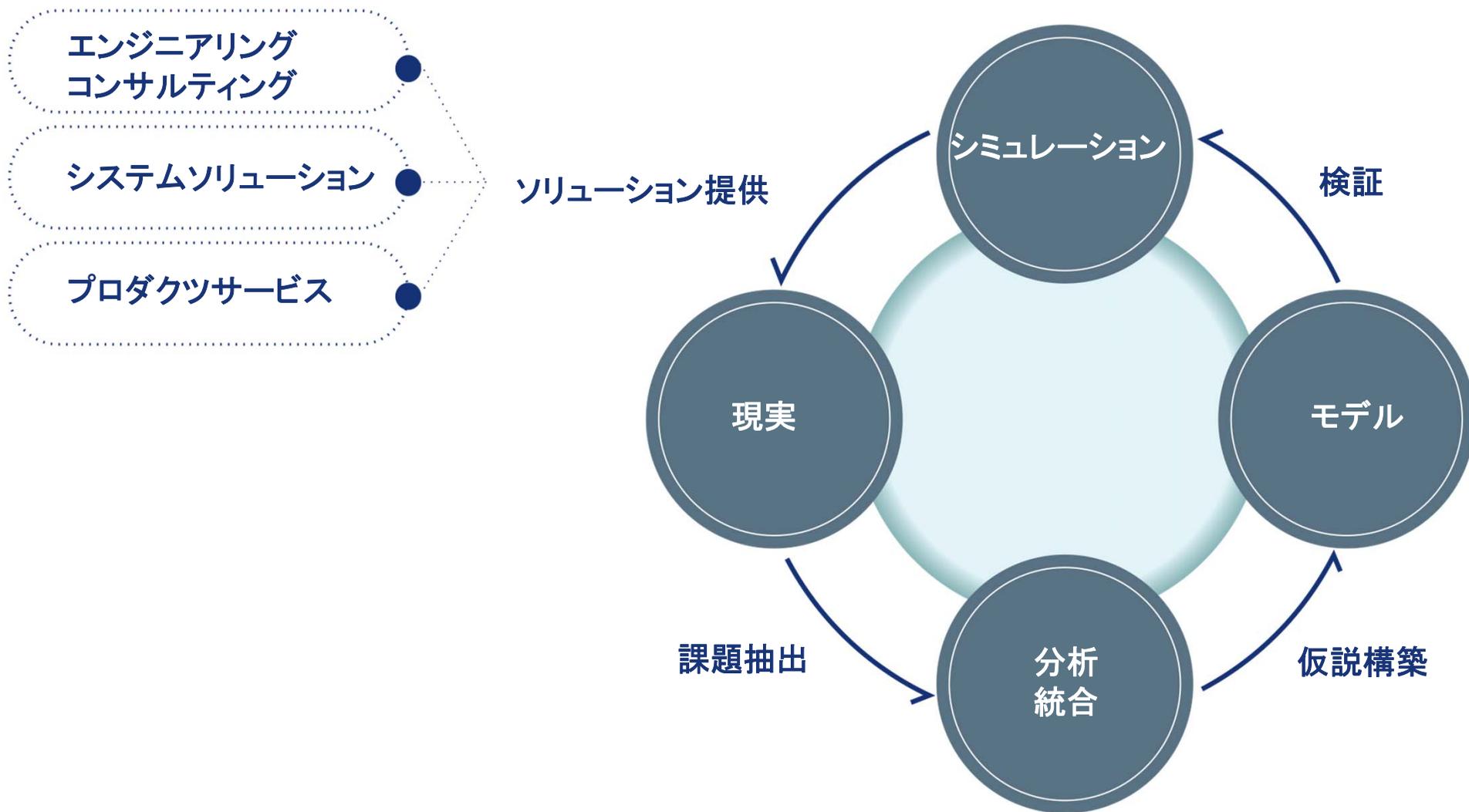
## I nternational

異なる知を持つ海外パートナーとの連携

# 事業領域の拡大



# 工学的アプローチの一例（モデリング&シミュレーション）



# 付加価値成長のシナリオ

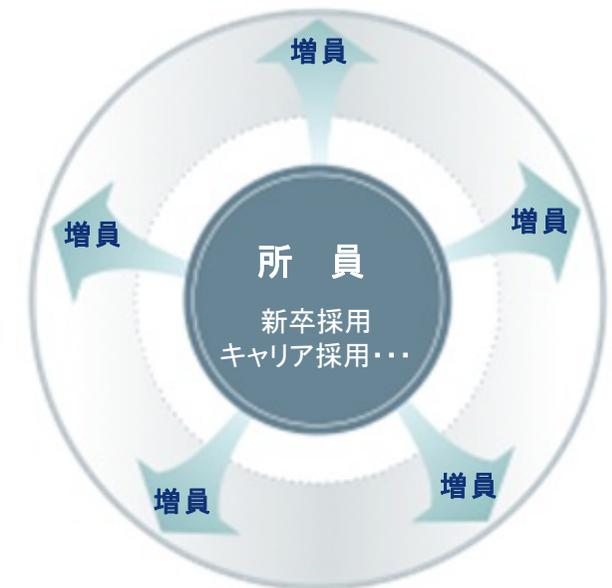
## 1. 「事業開発投資」による付加価値成長



## 2. 「所員の成長」による付加価値成長

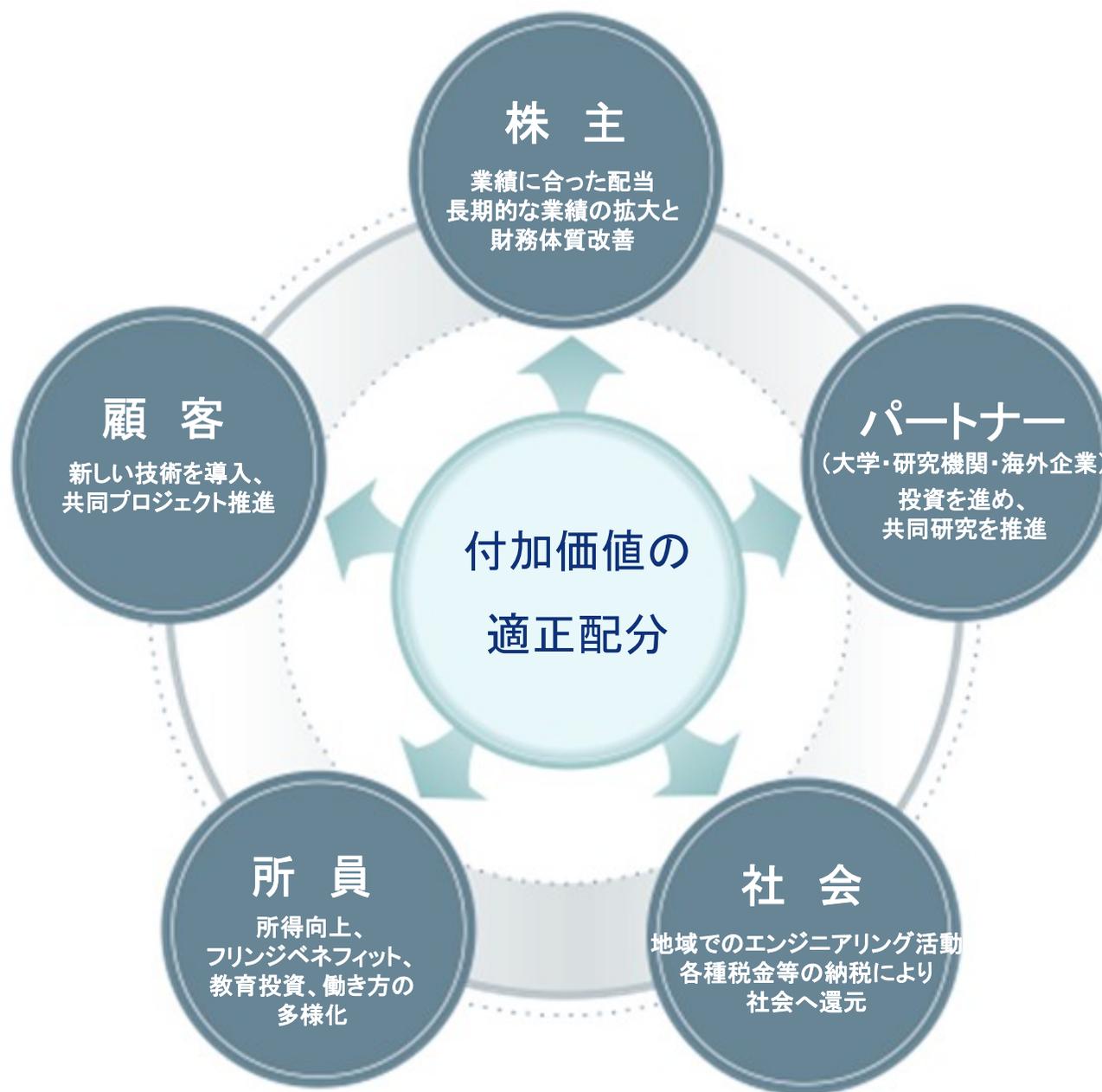


## 3. 「所員(仲間)の増加」による付加価値成長



※当社では営業利益に人件費を加えた額を付加価値と定義し、各ステークホルダーへの分配可能原資を表しています。

# 当社をめぐるステークホルダーへの対応



# 付加価値を拡大するための経営

## ■ 品質不良プロジェクトの撲滅

- 工数の増大による採算悪化
- 納期の遅延
- 顧客満足度低下

⇒ 経営の最重要課題として今後も取り組む

## ■ 事業開発投資

- 新規
- 継続
- 再生

## ■ 新しいビジネスモデルのプラットフォームを求めて

- 企業への投資 (Vitracom社、プロメテック・ソフトウェア社など) リターン＋技術シナジー
- B to Bの先を見据えたビジネス展開 「Public」、「Local」、「Global」
- 知的財産のビジネス的活用

## ■ Back to 学術・研究機関との連携

# 「事業開発投資」による付加価値成長 新たな価値の創造

## 新規

### 新しいビジネスの種の発掘

RRP、BeaconCast、見守りシステム、PTV Vision、SendGrid

## 継続

### 現業部門における新規ビジネスの継続成長

解析コンサルティング、構造計算システム

## 再生

### 既存ビジネスの再生・深耕

オペレーションズ・リサーチ、社会マーケティングエンジニアリング

## RRP(Rapid Radio Prototyping)

ソフトウェア無線の技術を応用したソリューション提供型ビジネス

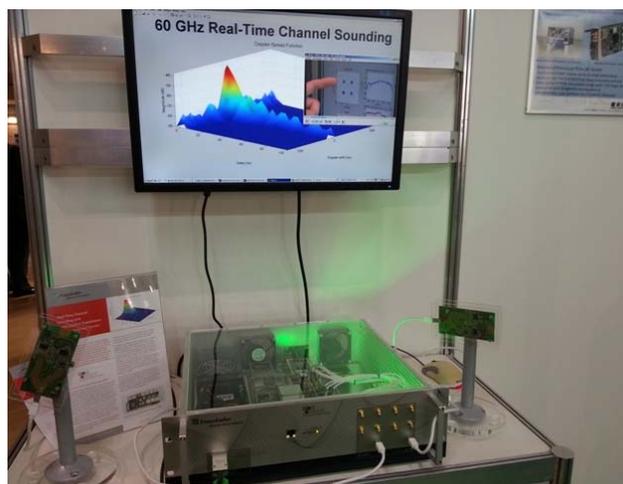


無線装置の試作サービスを従来より短期間かつ高付加価値で提供可能

2013年5月 Wireless Technology Parkにて展示



SDR RF Front End LTE  
信号生成実験



HIRATE 60GHz  
チャンネルサウンダーデモ

 **Fraunhofer**  
Heinrich Hertz Institute

  
Prototyping Service

## BeaconCast

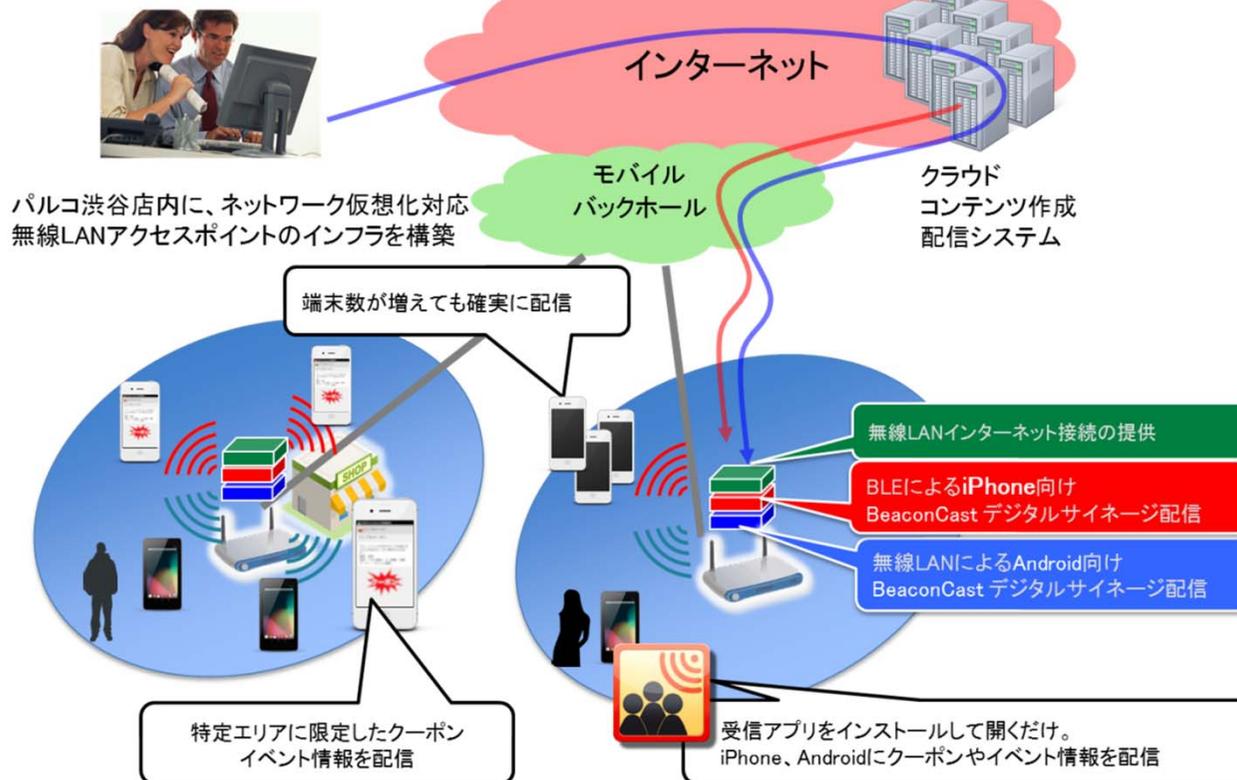
文部科学省大学発新産業創出拠点プロジェクト(START)の採択事業  
アクセスポイント仮想化技術の研究およびアプリケーション開発  
東京大学研究員として当社所員が参画

O2O  
(Online to Offline)  
ビジネスの検討



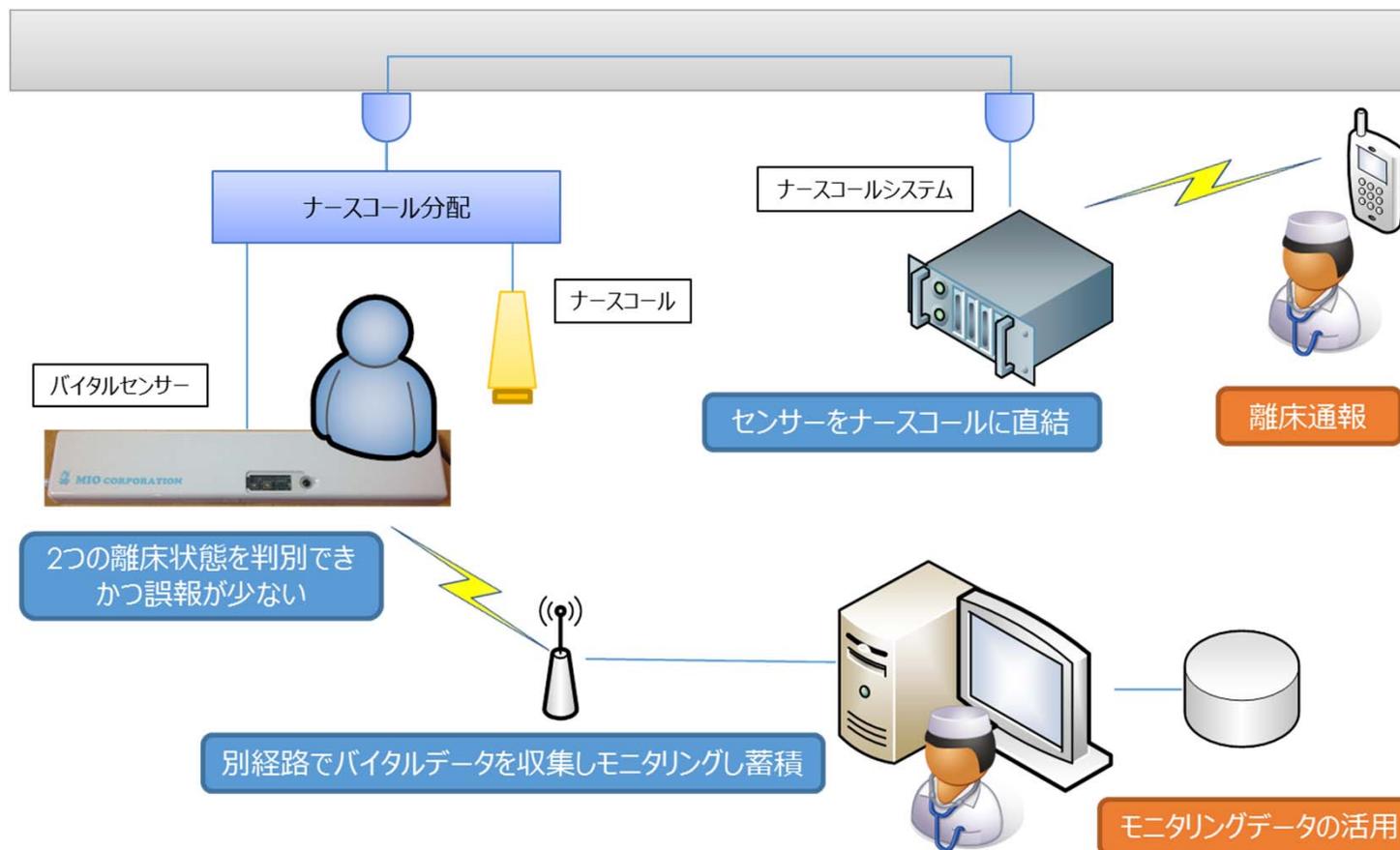
渋谷パルコでの  
実証実験

O2O情報(クーポン・イベント情報等)の入力



## 見守りシステム

### バイタルセンサーを利用した介護施設における見守りシステム



SendGrid

クラウドベースのメールインフラストラクチャー



## PTV Vision

総合交通シミュレーション

マクロシミュレータ(広域ネットワークモデリング、需要予測モデリング)

ミクロシミュレータ(人と車、自転車等)

### 例) ラウンドアバウト (円形交差点) の交通シミュレーション



# より良い社会の実現と付加価値成長を目指して

## *Public*

技術コンサルティング企業として制度やルールの策定から参画

## *Local*

地域に特有の課題(災害、交通など)解決を現場と連携して支援

## *Global*

日本企業の海外展開を支援するソリューションの提供

# (Public) 内閣府「地震対策等の推進に必要な経費」事業

## 内閣府「地震対策等の推進に必要な経費」事業

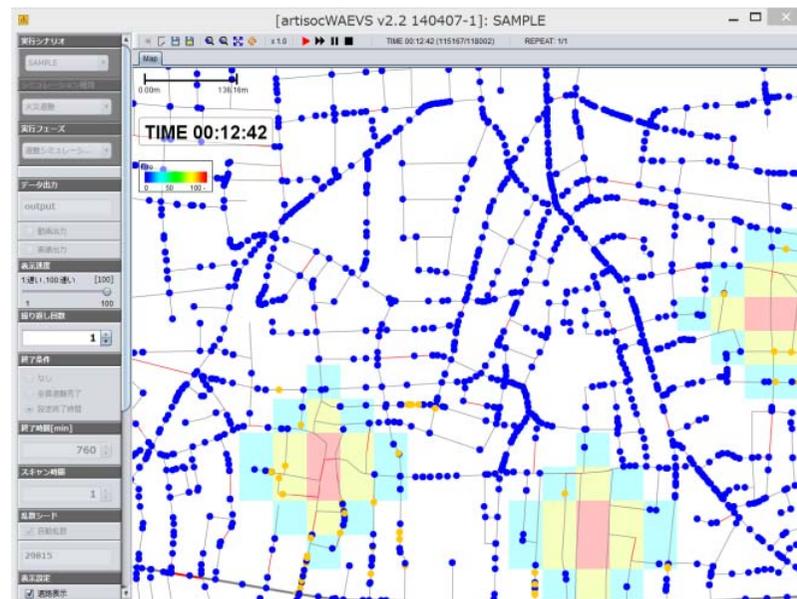
### 内閣府

- 大規模地震防災・減災対策大綱
- 避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成等のガイドライン

### KKE

- 大地震時における広域的な火災延焼・避難シミュレーション
- 関係機関と連携方策、技術的可能性等の検討
- 東京大学加藤孝明先生とのコラボレーション

■ KKE所員の研究参画(東大生産研特任研究員)



火災避難シミュレーションイメージ図

# (Local) 中野イノベーションオフィスの活動

## 中野イノベーションオフィスの活動(2013年12月開設)

「商品開発レシピコンテスト」開催

- 中野区観光協会、中野区商店街連合会等と共同開催
- 都内料理人対象に東北の地場産品を活用した新商品の料理レシピ募集

## 地域貢献 東北復興支援



中野オフィス外観



第1回コンテストの様子

# (Global) 海外パートナー



Tacton Systems社  
スウェーデン スtockホルム



Scalable Network  
Technologies社  
米国カリフォルニア州



Mentor Graphics社  
米国オレゴン州



FPX社  
米国ミネソタ州



マサチューセッツ工科大学  
米国マサチューセッツ州



EMWorks社  
カナダ モントリオール



Minitab社  
米国ペンシルバニア州



Heinrich Hertz Institute

Fraunhofer研究機構  
独ベルリン



Intelligent Video Analysis

Videmo社  
独カールスルーエ

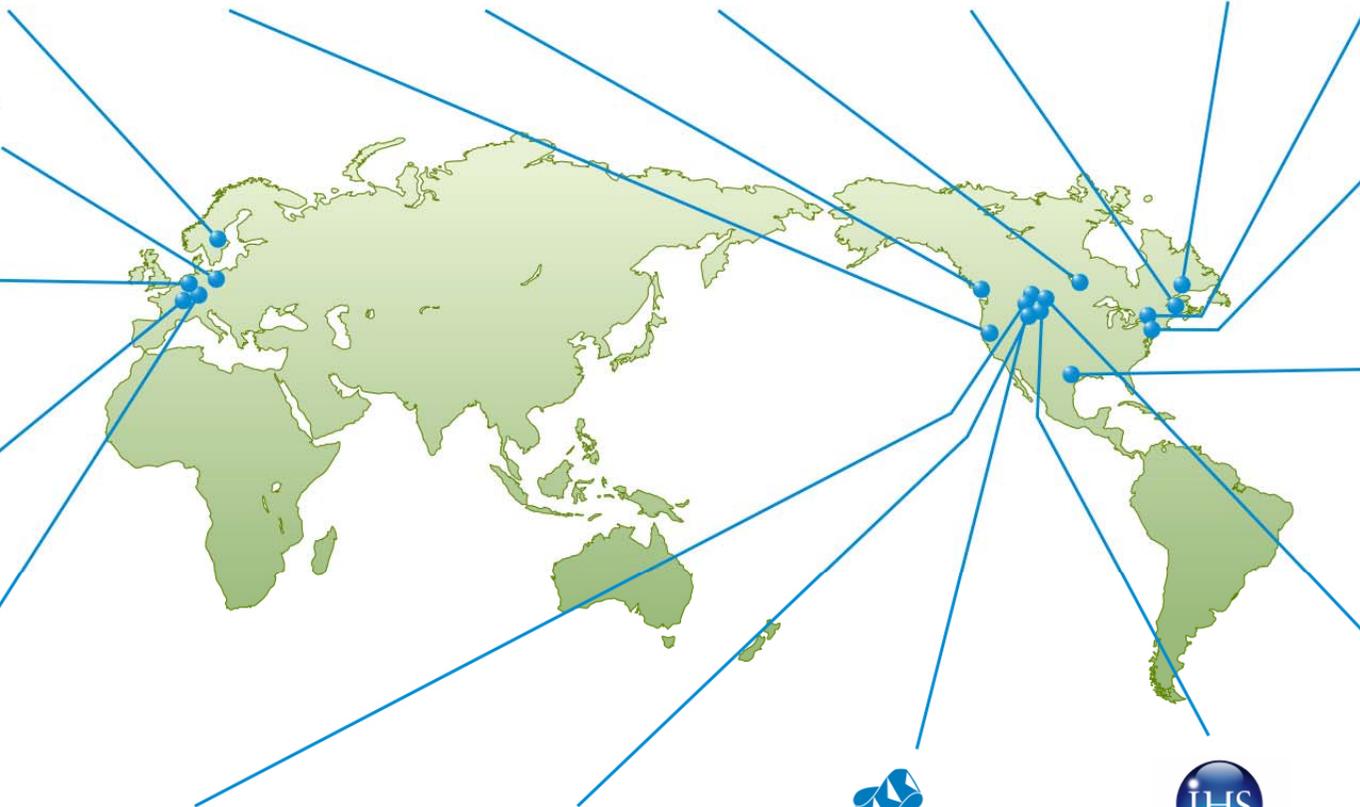


Vitracom社  
独カールスルーエ



the mind of movement

PTV社  
独カールスルーエ



Oracle社  
Crystal Ball Global  
Business Unit  
米国コロラド州



Flonomics社  
米国コロラド州



SendGrid社  
米国コロラド州



The Source  
for Critical Information and Insight™

IHS社  
米国コロラド州



Remcom社  
米国ペンシルバニア州



ARGUS Software社  
米国テキサス州



LOCKSTATE社  
米国コロラド州

# (Global) ASEAN Career Fair 2014

ASEAN  
CAREER FAIR  
JAPAN  
IN SINGAPORE  
2014

## ■ キャリアフェア概要

- ASEAN各国のトップ大学の学生が500人以上集まる合同企業説明会、選考会
- 日本企業18社が参加

## ■ 参加目的

- 2016年入社向け新卒採用より 外部環境が大きく変化するため、別の新卒採用チャネルを確保
- 今後のグローバル展開を睨み、外国籍所員の人員増強を測る(現在15名、2.6%)

## ■ 結果

- 7名入社予定  
国籍: イラン、インド、インドネシア、マレーシア、中国  
大学: シンガポール国立大学、ナンヤン理工大学、マレーシア工科大学、バンドン工科大学



# 知的財産の重視

## 知財戦略の目標

### Professional Design & Engineering Firm として 知的財産を軸にした高付加価値化

#### 施策方向

- 暗黙知の形式知化などを促進する、知的・情報資産の管理活用施策の展開
- ビジネス初期段階からの知的財産を意識したスキーム策定、契約、交渉（特許等による独占、ノウハウ秘蔵、標準化、共同化などの手段選択）
- 過去の成功・失敗体験を含めた実績経験を社内で共有、活用する文化の推進
- 保有知財をベースとした、パートナーとのWin-Winの関係構築

#### 参考情報)

2014年8月現在の保有特許件数 47件

2014年8月現在の特許出願中発明件数 31件

2013年度特許件数ランキング 新興市場における情報通信分野企業 第3位

2013年度特許資産規模ランキング 新興市場における情報通信分野企業 第4位

(パテントリザルト調べ)

研究開発、事業戦略と一体化して、ビジネスモデルと新技術の創造を促す

## Back to 学術・研究機関との連携

- 社会への技術還元を目指して
- 学術・研究機関との長期的な連携
  - 1999年～ 複雑系シミュレーションartisoc  
東京大学 山影進名誉教授
  - 2005年～ 住宅家歴書プロジェクト  
東京大学副学長 野城智也教授
  - 2011年～ 需要家サイドのエネルギーマネジメント  
京都大学情報学研究科 松山隆司教授
  - 2014年～ 細胞培養予測シミュレーションの共同開発  
大阪大学 紀ノ岡正博教授

## 日本免震構造協会「創立20周年記念フォーラム」にて当社が功労賞受賞

### ■ 授賞理由

永年にわたり免震構造の健全な普及推進に尽力し、  
多くの免震・制振建築物の実現に貢献したことにより。



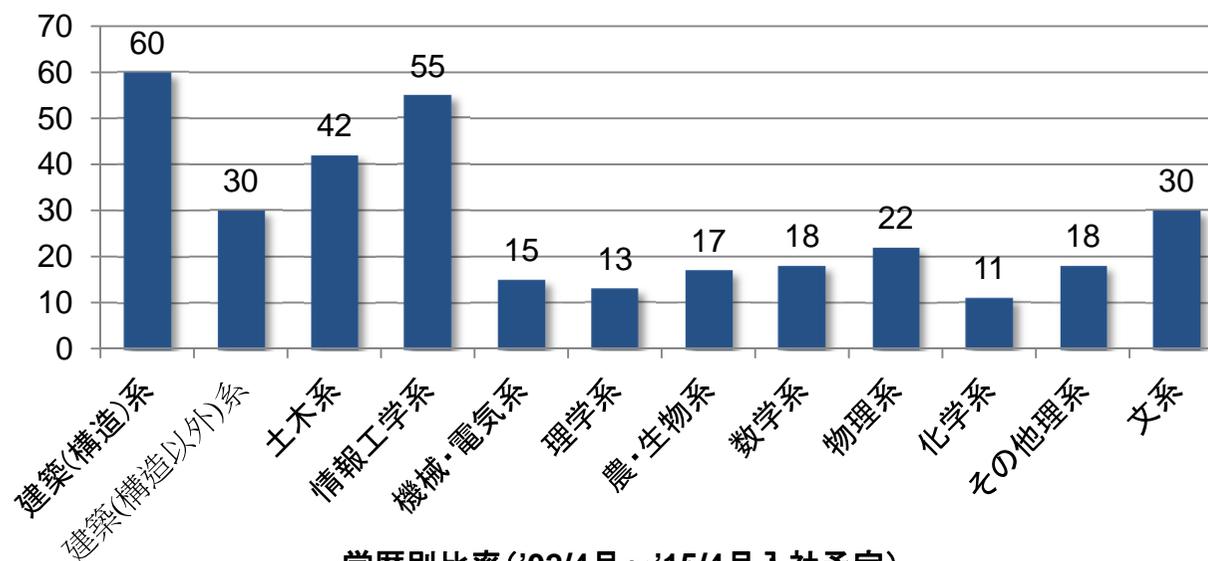
リノ大学にて免震構造についての講義を行った当社技師長高橋

# 「所員の増加」による付加価値成長①

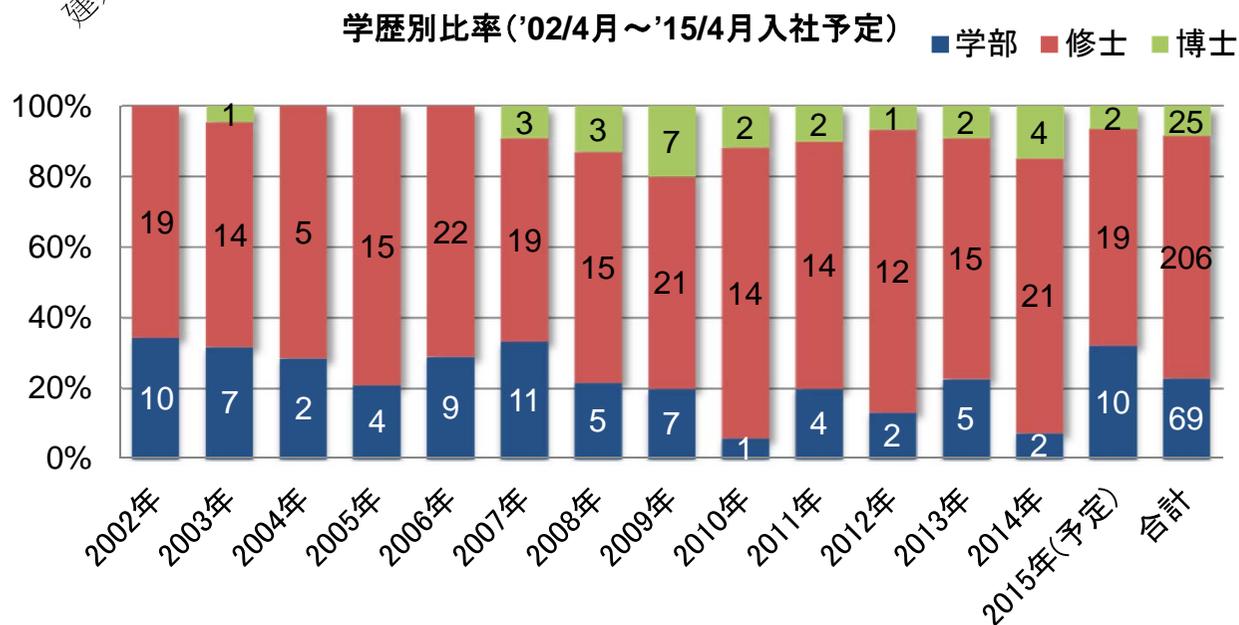
出身校上位20校 ( '02/4月～'15/4月入社予定)	人数
東京工業大学	29
京都大学	21
東京大学	21
九州大学	20
早稲田大学	18
東京理科大学	13
熊本大学	10
筑波大学	10
慶應義塾大学	8
大阪大学	8
日本大学	7
名古屋大学	6
東京農工大学	6
首都大学東京(※1)	6
横浜国立大学	5
埼玉大学	5
中央大学	5
法政大学	5
東北大学	5
北陸先端科学技術大学院大学	4
豊橋技術科学大学	4
佐賀大学	4
上智大学	4
同志社大学	4
立命館大学	4

※1 東京都立大学、東京都立科学技術大学 合計  
 ※2 全て内定者を含む

出身専攻系統( '02/4月～'15/4月入社予定)

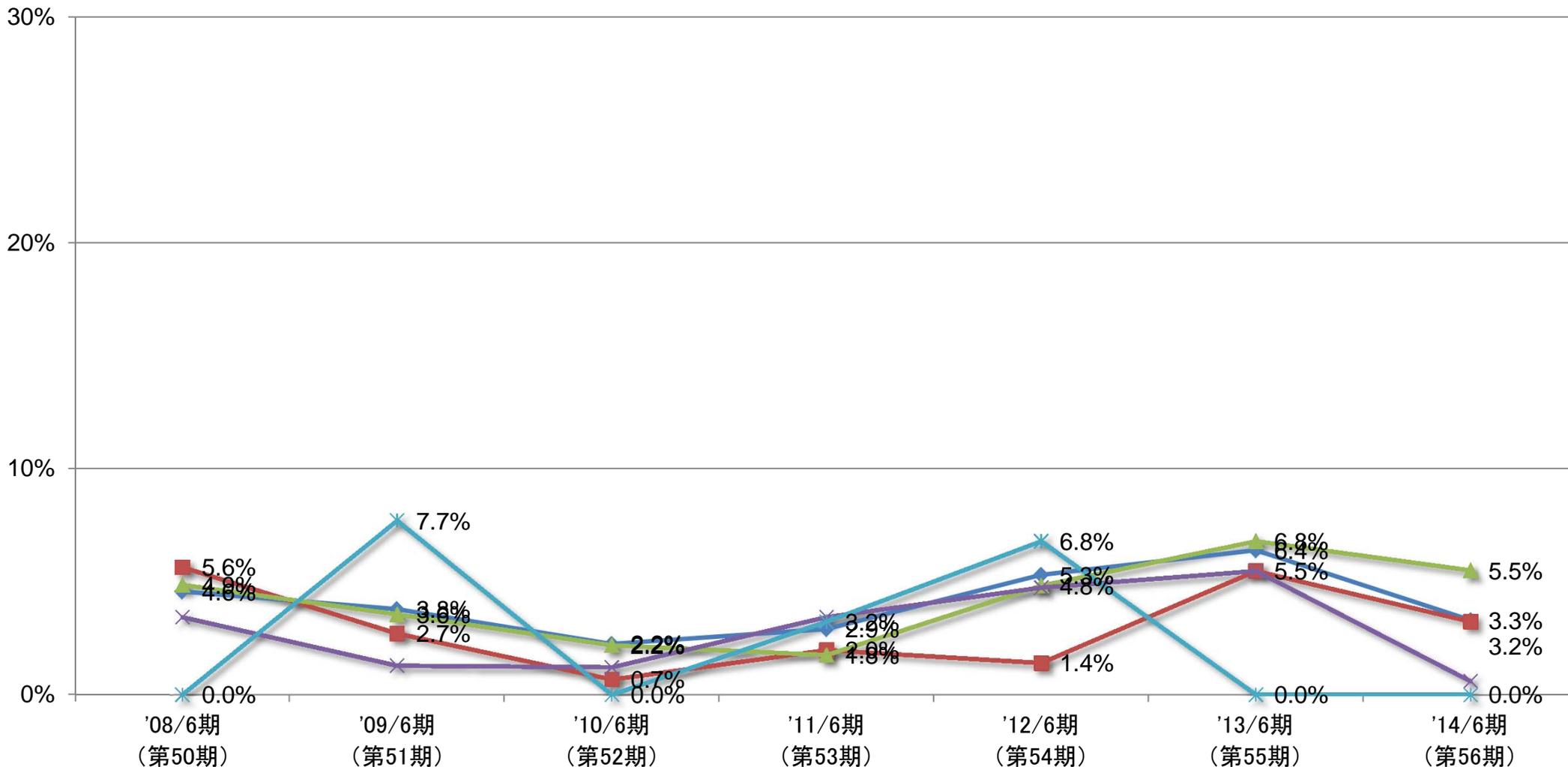


学歴別比率( '02/4月～'15/4月入社予定)



# 「所員の増加」による付加価値成長②

◆ 全社離職率   
 ■ 20歳代離職率   
 ▲ 30歳代離職率   
 × 40歳代離職率   
 ✱ 50歳代離職率



# 全社マーケティングイベント KKE Vision 2014

## 開催概要

日時：2014年10月30日（木）

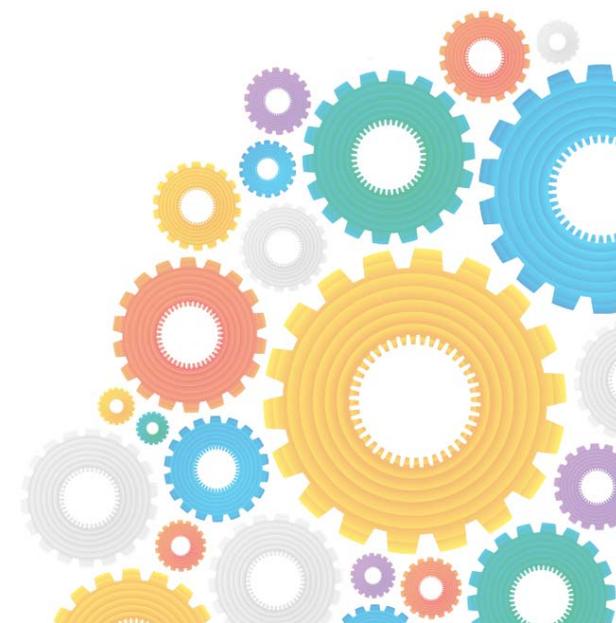
場所：虎ノ門ヒルズフォーラム

昨年度来場者数：1,000名

## 講演テーマ

- 交通自動化、
- インフラ維持管理
- データ活用による防災
- 医療分野へのシミュレーション活用
- 構造新素材、
- 海外スタートアップ企業動向

※テーマは今後変更の可能性がございます。予めご了承ください。



本日はお忙しい中お越しいただき  
誠にありがとうございました

今後とも何卒よろしくお願い致します

【お問い合わせ先】

株式会社構造計画研究所

広報・IR室(担当:小山、松本)

T E L : 03-5342-1040

F A X : 03-5342-1042

E-MAIL : [ir@kke.co.jp](mailto:ir@kke.co.jp)

H. P. : <http://www.kke.co.jp>